2014 年関西医科大学外科学講座業績集 (2014.1-12)

2015年1月に筆頭のみの業績報告を依頼し、回答があった順に記載

坂口　達馬

発表（11）

1. 坂口達馬、海堀昌樹、石崎守彦、松井康輔、菱川英彦、松島英之、松井陽一、權　雅憲. Sorafenib を含む集学的治療により奏功の得られた進行再発肝細胞癌の 1 例. 第 9 回日本肝癌分子標的治療研究会, 東京
2. 坂口達馬, 高田晃平, 中村有佑, 橋本祐希, 濵田吉則. 上腹体に臍帯ヘルニアを伴った 1 例. 第 51 回日本小児外科学会学術集会, 大阪
3. Tatsuma Sakaguchi, Yoshinori Hamada, Kouji Masumoto, Tomoaki Taguchi. Segmental dilatation of the intestine -A report from Japanese Study Group of allied disorders of Hirschsprung's disease. PAPS, Banff, Canada
4. 坂口達馬、海堀昌樹、石崎守彦、松井康輔、松島英之、井上健太郎、松井陽一、權　雅憲. アシアロシンチ GSA-Rmax を用いた障害肝における門脈塞栓術後の予定残肝機能評価. 第 26 回日本肝胆膵外科学会　和歌山
5. 坂口達馬、海堀昌樹、石崎守彦、松井康輔、松島英之、井上健太郎、松井陽一、權　雅憲. 集学的治療により著効が得られた進行再発肝細胞癌の 1 例. 第 26 回日本肝胆膵外科学会　和歌山
6. 坂口達馬、海堀昌樹、石崎守彦、松井康輔、松島英之、井上健太郎、松井陽一、權　雅憲. 肝細胞癌破裂に対し根治切除を施行した 19 例の検討. 第 26 回日本肝胆膵外科学会　於　和歌山
7. 坂口達馬、海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、松島英之、井上健太郎、松井陽一、權　雅憲. 当科での完全鏡視下系統的肝切除における術後ペインフリーを目的とした手術手技の工夫. 第 69 回　日本消化器外科学会総会　福島
8. 坂口達馬、濱田円、大石賢玄、尾崎岳、福井淳一、向出裕美、道浦拓、井上健太郎、岩本慈能、權　雅憲. 腹腔鏡下横行結腸切除術後の結腸間膜欠損部に内ヘルニアを来した 1 例. 第 27 回近畿内視鏡外科研究会　神戸
9. 坂口達馬, 濱田　円, 大石賢玄, 尾崎　岳, 福井淳一, 向出裕美, 道浦　拓, 井上健太郎, 岩本慈能. 腹腔鏡下横行結腸切除術後の結腸間膜欠損部に内ヘルニアを来した 1 例. 第 27 回日本内視鏡外科学会総会　岩手
10. 坂口達馬, 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 飯田洋也, 中竹利知, 松島英之, 權　雅憲. アシアロシンチ SPECT と CT の 3D fusion image による門脈塞栓術後残肝機能評価の取り組み. 第 9 回肝癌シミュレーション研究会　大阪
11. 坂口　達馬, 濱田　円, 大石　賢玄, 尾崎　岳, 福井　淳一, 向出　裕美, 道浦　拓, 井上　健太郎, 岩本　慈能. 腸管膀胱瘻の 4 例. 第 196 回近畿外科学会　京都

津田　匠

発表（1）

1. 津田　匠、海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、松島英之、坂口達馬、井上健太郎、松井陽一、權　雅憲. 安全丁寧な肝切離術のための術前 3D Virtual hepatectomy および術中ナビゲーションシステムの開発. 日本消化器外科学会総会　福島

山田　正法

論文（1）

1. 山田正法、中井宏治、井上健太郎、松浦節、柳田英佐、北出浩章、吉岡和彦、濱田円、權　雅憲. 膵頭十二指腸切除術後15 年目に発生した残胃癌の 1 例. 癌と化学療法誌、2014. 12（掲載予定）

発表（2）

1. 山田正法、中井宏治、松浦　節　、柳田英佐、北出浩章　、井上健太郎、吉岡和彦、濱田円、權　雅憲. PD 術後に胃全摘出術を施行した残胃癌の 1 例. 第 36 回日本癌局所療法研究会　大阪
2. 山田正法、中井宏治、肱川健、岩城隆二、井上健太郎、北出浩章、吉岡和彦、權　雅憲. 治療に難渋した十二指腸潰瘍の 2 例. 第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡

田中　義人

論文（3）

1. Tanaka Y, Ohashi S, Ohtsuki A, Kiyono T, Park EY, Nakamura Y, Sato K, Oishi M, Miki H, Tokuhara K, Matsui K, Kaibori M, Nishizawa M, Okumura T, Kwon AH. Adenosine, a hepato-protective component in active hexose correlated compound: Its identification and iNOS suppression mechanism.. Nitric Oxide, 2014; 40: 75-86
2. Tanaka Y, Kaibori M, Miki H, Oishi M, Nakatake R, Tokuhara K, Nishizawa M, Okumura T, Kwon AH. Japanese Kampo medicine, ninjinyoeito, inhibits the induction of iNOS gene expression in proinflammatory cytokine-stimulated hepatocytes.. British Journal of Pharmaceutical Research, 2014; 4(19): 2226-2244
3. Yoshito Tanaka, Masaki Kaibori, Hirokazu Miki, Richi Nakatake, Katsuji Tokuhara, Mikio Nishizawa, Tadayoshi Okumura, A-Hon Kwon. Alpha-lipoic acid exerts a liver-protective effect in acute liver injury rats.. Journal of Surgical Research, 2015; 193(2): 675-83

発表（2）

1. 田中義人、海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、松島英之、坂口達馬、井上健太郎、松井陽一、權　雅憲. 当科での肝切除後合併症抑止に向けた種々の工夫. 第 69 回日本消化器外科学会総会、福島、2014.07.16－18
2. 田中義人、大橋里美、清野珠美、佐藤健司、三木博和、中竹利知、海堀昌樹、奥村忠芳、西澤幹雄、權　雅憲. AHCC肝保護効果の成分アデノシン；その同定とiNOS誘導阻害の機構. 第22回統合医療機能性食品国際会議（ICNIM）、札幌、2014.7.26-27

井上　健太郎

発表（5）

1. Kentaro Inoue. Laparoscopic Gastrectomy for Gastric Cancer. International congress and the third IASGO CME postgraduate course. Oral presentation, Moscow, June 6-8 2014.
2. 井上健太郎、木村穣、吉内佐和子、毛利恵子、川口早苗、中嶋佐知子、中村夏子、北村晃子、宮内拓史、那須加奈子、濱田円、權　雅憲. 肥満を伴う胃癌手術における術前減量方法の開発. ポスター発表. 第 32 回日本肥満症治療学会学術集会. 大津.
3. 井上健太郎、福井淳一、尾崎岳、向出裕美、道浦拓:、徳原克治、里井壯平、海堀昌樹、濱田円、權　雅憲. バンディングレトラクターを用いた背側胃間膜の腸間膜化による膵上縁リンパ節郭清. 企画関連口演. 第 69 回日本消化器外科学会総会. 郡山
4. 井上健太郎、木村穣、吉内佐和子、松島典子、川口紗苗、中村夏子、毛利恵子、宮内拓史、高尾奈那、藤井彩、磯田知美、那須加奈子、道浦拓、尾崎岳、向出裕美、福井淳一、權　雅憲. 腹腔鏡下スリーブ状胃切除の糖尿病に対する効果. ミニワークショップ. 第 8 回日本内視鏡下肥満・糖尿病外科研究会. 盛岡
5. 井上健太郎、尾崎岳、福井淳一、道浦拓、岩本慈能、里井壯平、海堀昌樹、柳本泰明、濱田円、權　雅憲. 腹腔鏡下胃切除 Roux-en-Y 再建における十二指腸切離断端の埋没方法と意義. 一般演題. 第 27 回日本内視鏡外科学会. 盛岡

講演その他（4）

1. 井上健太郎、内視鏡手術が可能にする日本経済の発展. がん治療・緩和センター開設記念講演会、大阪
2. 井上健太郎. 腹腔鏡下胃切除の進化—胃癌から肥満へ. 教育講演. 第3回京阪神腫瘍外科フォーラム. 大阪
3. 井上健太郎、李相雄、瀧口修司. エチコンビデオクリニック（Surgeon’s Roadmap）. コメンテーター. 大阪
4. 井上健太郎、内藤剛、稲嶺進、金尾祐之、関洋介、木下敬弘、笠間和典. 完全体腔内縫合 Hands on Suturing Seminar. インストラクター, 大津.

兼松　清果

発表（3）

1. 兼松清果、吉田秀行、岡崎智、神原達也、金成泰、吉田良、權　雅憲. パクリタキセル＋ベバシズマブ投与にて長期間 SD を得ている転移性乳癌の症例. 第 195 回近畿外科学会　大阪
2. 兼松清果、吉田秀行、岡崎智、神原達也、金成泰、吉田良、田中完児、權　雅憲. 緩和医療としての化学療法. 第 22 回日本乳癌学会学術総会. 大阪
3. 兼松清果、吉田秀行、岡崎智、神原達也、金成泰、吉田良、田中完児、權　雅憲. ホルモン補充療法と乳癌検診. 第 12 回日本乳癌学会近畿地方会. 京都

佐藤　正人

論文（3）

1. 佐藤正人、服部健吾、橘木由美子、宮内雄也、園田真理、高田晃平、濵田吉則、權　雅憲. 単孔式内視鏡手術一腸重積観血的整復術. 小児外科、2014、46(3):242-246
2. Masahito Sato, Kengo Hattori, Yuya Miyauchi. Laparoscopic Roux-en-Y duodenojejunostomy for superior mesenteric artery syndrome in a 6-year-old girl: A case report of a new minimallysurgical technique for children. Asian Jounal of Endoscopic Surgery、2014、7(4):334-336
3. 佐藤正人. 技術認定習得者のための内視鏡外科診療ガイドライン 2014 年版（領域担当分科会委員）. 日本内視鏡外科学会雑誌. 2014、特別号、95-112

発表（9）

1. 佐藤正人、高田晃平、棚野晃秀、濵田吉則. 腹腔鏡下脾臓摘出術におけるわれわれの工夫. 第 27 回日本小児脾臓研究会, 熊本
2. 佐藤正人、服部健吾、宮内雄也、園田真理、高田晃平、權　雅憲、濵田吉則. 腹腔鏡下幽門筋切開術の功罪　一自験例から判明したこと. 第１１４回日本外科学会総会, 京都
3. 佐藤正人、濵田吉則、高田晃平. 特別ビデオ meet the expert ビデオ２　横隔膜縫縮術. 第 51 回日本小児外科学会総会, 大阪
4. 佐藤正人. 便秘の話. 第 51 回京大小児科関連懇話会, 大阪
5. 佐藤正人、服部健吾、林　宏昭、宮内雄也、園田真理. 小児外科領域技術認定医資格は一般病院でも習得できるか一小児外科研修医の内視鏡外科教育の試み. 第 27 回日本内視鏡外科学会総会, 盛岡
6. 佐藤正人、林　宏昭、服部健吾、宮内雄也、園田真理、濵田吉則. 腹腔鏡下幽門筋切開術における再手術症例の検討. 第27回日本内視鏡外科学会総会, 盛岡
7. 佐藤正人、服部健吾、林　宏昭、橘木由美子、高田晃平、濵田吉則. 胸腔鏡下先天性横隔膜ヘルニア修復術症例の検討一手術手技を中心に. 第 34 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会, 淡路島
8. 佐藤正人、服部健吾、林　宏昭、橘木由美子、宮内雄也、園田真理、高田晃平、濵田吉則. 腹腔鏡下幽門筋切開術における再手術症例. 第 34 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会, 淡路島
9. 佐藤正人. 日帰り手術に術前検査は必要か. 弟 76 回日本臨床外科学会総会, 郡山

講演（1）

1. 佐藤正人. 重症心身障害児（者）と外科の関わり. 平成２５年度良質な医師を育てる研修（重症心身障害児（者）医療一国立病院機構開催, 京都

座長（3）

1. 佐藤正人. ワークショップ４　内視鏡外科の新しい展開. 第 51 回日本小児外科学会総会, 大阪
2. 佐藤正人. ポスター小腸. 第 51 回日本小児外科学会総会, 大阪
3. 佐藤正人. 小児救急医療と内視鏡外科. 第 27 回日本内視鏡外科学会総会, 盛岡

金 成泰

論文（1）

1. Kim, S, Toyokawa, H, Yamao, J, Satoi, S, Yanagimoto H, Yamamoto T, Hirooka S, Yamaki S,, Inoue, K, Matsui Y, Kwon AH. Antitumor effect of angiotensin ii type 1 receptor blocker losartan for orthotopic rat pancreatic adenocarcinoma. Pancreas, 2014, 43,(6): 886-890

発表（2）

1. 金　成泰, 神原　達也, 岡崎　智, 兼松　清果, 吉田　秀行, 吉田　良, 山田　正法, 中井　宏治, 向出　裕美, 尾崎　岳, 福井　淳一, 道浦　拓, 井上　健太郎, 權　雅憲. 開腹時 P0CY1 胃癌症例の治療成績. 日本癌治療学会総会、横浜
2. 金　成泰, 神原　達也, 岡崎　智, 吉田　良, 兼松　清果, 吉田　秀行, 道浦　拓, 中井　宏治, 山田　正法, 井上　健太郎, 權　雅憲. 化学療法著効後、緩和手術を施行した切除不能胃癌の 2 例. 日本胃癌学会総会、横浜

矢内洋次

発表（2）

1. 矢内洋次、遠藤 香代子、松本 真由美、杉江知治、權 雅憲. 乳がんからあなた自身を守るために. 市民公開講座、枚方
2. 矢内洋次、遠藤 香代子、松本 真由美、杉江知治、權 雅憲. 高度肝機能障害を伴う HER2 陽性乳癌に対して pertuzumab と trastuzumab の dual blockade が有効であった一例. 第 601 回 大阪外科集談会、大阪

山尾 順

発表（4）

1. 山尾 順、駒井宏好、吉岡和彦、權 雅憲. フットケアチームによる足病変発見から下腿動脈バイパス術に至った重症虚血肢の一治験例. 第 28 回近畿血管外科地方会、神戸
2. 山尾 順、駒井宏好、吉岡和彦、權 雅憲. フットケアチームによる足病変の発見からバイパス術に至った重症虚血肢の一治験例. 第 6 回日本下肢救済・足病学会学術集会、札幌
3. 山尾 順、駒井宏好. 上腕動脈閉塞による手指広範囲組織欠損に対してバイパス手術が有効であった1例. 第 133 回大阪血管外科同好会、大阪
4. 山尾 順、駒井宏好、今村 敦. 下腿動脈バイパス長期開存例の in situ 大伏在静脈グラフトの組織学的検討. 第 55 回日本脈管学会総会、倉敷

山中 英治

論文（7）

1. 山中英治: 末梢静脈栄養. 比企直樹、土師誠二、向山雄人編. がん栄養管理完全ガイド. 文光堂. p 106-114, 2014.
2. 山中英治、中本博之、北川克彦、小坂博久、小田道夫: 栄養管理におけるチーム医療; NST. 消化器外科. 2014, 37: 291-299.
3. 山中英治: 栄養管理と QOL. 日本静脈経腸栄養学会雑誌. 2014, 29: 799-804.
4. 山中英治: 腹腔ドレーン排液の観察ポイント. 西口幸雄編. 術前術後ケアの Q&A. 照林社. p 99-100, 2014.
5. 山中英治: 褥瘡ケアと特定栄養素-コラーゲンペプチド、HMB、アルギニンを中心に. 臨床栄養. 2014, 124: 788-792.
6. 山中英治: 日めくり式パス.日本クリニカルパス学会監修. 山中英治他編. クリニカルパス用語解説集-増補改訂版. 日本クリニカルパス学会. p. 13-14, 2014.
7. 山中英治: 褥瘡に効果のある栄養素と褥瘡患者用の栄養剤. Nutrition Care 7: 1166-1170, 2014.

発表（5）

1. 山中英治、中本博之、北川克彦、小坂博久、小田道夫: 高齢者社会における周術期の栄養管理. 第 17 回日本病態栄養学会年次集会. シンポジウム4 急性期領域の栄養管理～周術期の栄養管理～. 大阪
2. 山中英治、丸山範子、沢田祥子、神谷吏香、勝田友梨: 意識明瞭かつ車椅子に乗れる高齢の誤嚥性肺炎患者への PEG 造設の意義. 第 29 回日本静脈経腸栄養学会学術集会. 横浜
3. 山中英治: ずっと住み慣れた地元で受ける安心な医療－我らが病診連携-. シンポジウム3. 我らが在宅連携. 第 25 回日本在宅医療学会学術集会. 岡山
4. 山中英治、丸山範子、勝田友梨、神谷吏香、杉本一樹、藤村祐美子: 栄養サポートはここが大事！医療の質の向上を目指す NST. シンポジウム 16. ここが大事！質の向上を目指して. –各チーム医療の立場から-. 第 16 回日本医療マネジメント学会学術総会. 岡山.
5. 山中英治、糸田昌隆、岡田晋吾、真田弘美: コラーゲンペプチド高含有飲料の褥瘡治癒促進効果-多施設共同前向き臨床研究 Pilot Study-. 第 16 回日本褥瘡学会学術集会. 名古屋

松井 陽一

論文（2）

1. Matsui Y, Satoi S, Kaibori M, Toyokawa H, Yanagimoto H, Matsui K, Ishizaki M, Kwon A-H. Antibiotic Prophylaxis in Laparoscopic Cholecystectomy: A Randomized Controlled Trial. PLOS ONE 2014; 9: e106702. Doi: 10.1371/journal.pone.0106702
2. Matsui Y, Ryota H, Sakaguchi T, Nakatani K, Matsushima H, Yamaki S, Hirooka S, Yamamoto T, Kwon A-H. Comparison of a Flexible-tip Laparoscope with a Rigid Straight Laparoscope for Single-incision Laparoscopic Cholecystectomy. Am Surg 2014; 80:

1245-1249.

良田　大典

発表（10）

1. 良田大典、豊川秀吉、里井壯平、柳本泰明、山本智久、廣岡智、山木壮、井上健太郎、道浦拓、松井陽一、權　雅憲. 切除不能胆道癌に対して化学放射線療法を行い根治切除し得た 3 名.. 大阪外科集談会、大阪
2. Hironori Ryota, Sohei Satoi, Hiroaki Yanagimoto, Hideyoshi Toyokawa, Tomohisa Yamamoto, Satoshi Hirooka, So Yamaki, Taku Michiura, Kentaro Inoue, Yoichi Matsui, A-Hon Kwon. . Clinical efficacy of staging laparoscopy in patients with radiographically-defined locally advanced pancreatic cancer. IHPBA, Seoul
3. 良田大典、坂口達馬、中谷和義 、渋谷　卓. 腹部限局性大動脈解離の一例. 血管外科近畿地方会、神戸
4. 良田大典、里井壯平、豊川秀吉、柳本泰明、山本智久、廣岡智、桜本和人、高岡　亮、岡崎和一、權　雅憲. 外傷性膵損傷における治療戦略. 日本腹部救急医学会、東京
5. 良田大典、里井壯平、柳本泰明、豊川秀吉、山本智久、廣岡　智、山木　壮、道浦拓、井上健太郎、松井陽一、權　雅憲. 膵癌における腹腔内洗浄細胞診の意義. 日本外科学会定期集会、京都
6. 良田大典、里井壯平、豊川秀吉、柳本泰明、山本智久、廣岡智、山木壮、道浦拓、井上健太郎、松井陽一、權　雅憲. 腹膜転移を有する膵体部癌に対し S-1+パクリタキセル経静脈・腹腔内併用療法を行い、切除可能となった1例. 日本肝胆膵外科学会、和歌山
7. 良田大典、豊川秀吉、里井壯平、柳本泰明、山本智久、廣岡智、山木壮、由井倫太郎、井上健太郎、道浦拓、松井陽一、權　雅憲. 切除不能胆道癌に対して術前化学療法を行い根治切除し得た 3 例. 日本消化器外科学会総会、福島
8. 良田大典、里井壯平、柳本泰明、豊川秀吉、山本智久、廣岡　智、山木　壮、道浦拓、井上健太郎、松井陽一、權　雅憲. 膵癌における腹腔洗浄細胞診陽性の意義. 日本膵切研究会、東京
9. Hironori Ryota., Sohei Satoi, Hiroaki Yanagimoto, Hideyoshi Toyokawa, Tomohisa Yamamoto, Satoshi Hirooka, So Yamaki, Taku Michiura,　Kentaro Inoue, Yoichi Matsui, AHon Kwon. A Clinical role of staging laparoscopy in patients with radiographically defined locally advanced pancreatic cancer, Taipei
10. Hironori Ryota, Sohei Satoi, Hiroaki Yanagimoto, Hideyoshi Toyokawa, Tomohisa Yamamoto, Satoshi Hirooka, So Yamaki, Taku Michiura, Kentaro Inoue, Yoichi Matsui, A-Hon Kwon. Clinical efficacy of staging laparoscopy in patients with radiographically-defined locally advanced pancreatic cancer. IASGO, Vienna

里井　壯平

論文（7）

1. Satoi S, Murakami Y Motoi F, Uemura K, Kawai M, Kurata M, Sho M, Matsumoto I, Yanagimoto H, Yamamoto T, Mizuma M, Unno M, Hashimoto Y, Hirono S, Yamaue H, Honda G, Nagai M, Nakajima Y, Shinzeki M, Fukumoto T, Kwon AH et al. Reappraisal of peritoneal washing cytology in 984 patients with pancreatic ductal adenocarcinoma who underwent margin-negative resection. J Gastrointest Surg. 2014 in press.
2. Satoi S, Yanagimoto H, Yamamoto T, Toyokawa H, Hirooka S, Yamaki S, Opendro SS, Inoue K, Michiura T, Kwon AH. A clinical role of staging laparoscopy in patients with radiographically defined locally advanced pancreatic cancer. Hepatogastroenterology 2014 in press.
3. 里井壯平、柳本泰明、豊川秀吉、山本智久、廣岡　智, 山木　壮, 良田大典, 道浦　拓, 井上健太郎, 松井陽一、權　雅憲. 腹膜転移を有する膵癌に対する S-1+PTX 経静脈・腹腔内併用療法の研究. 膵・胆道癌 Frontier　メディカルレビュー社　2014 in press.
4. 里井壯平、柳本泰明、豊川秀吉、山本智久、廣岡　智, 山木　壮, 良田大典, 道浦　拓, 井上健太郎, 松井陽一、權　雅憲. 膵癌腹膜転移に対する治療戦略. 膵癌治療 Up-to-date 2015, 46-53.　医学図書出版株式会社
5. 里井壯平、柳本泰明、豊川秀吉、山本智久、廣岡　智, 山木　壮, 良田大典, 道浦　拓, 井上健太郎, 松井陽一、權　雅憲. 切除可能膵癌に対する術前補助療法：化学療法と化学放射線療法. 膵癌治療 Up-to-date 2015, 259-66.　医学図書出版株式会社
6. 里井壯平, 柳本泰明, 豊川秀吉, 山本智久, 廣岡　智, 山木　壮, 良田大典, 權　雅憲. 膵癌の集学的治療-切除可能から切除不能まで-. 肝胆膵治療研究会会誌　2014:12:5-10.
7. 里井壯平, 庄　雅之, 權　雅憲. 膵頭十二指腸切除後の脂肪肝に対するパンクレリパーゼ製剤の治療効果. CLINICIAN　'14, 2014;61: 59-65

発表（14）

1. 里井壯平，柳本泰明，豊川秀吉，山本智久，廣岡　智，山木　壮，良田大典，井上健太郎，道浦　拓，松井陽一，權　雅憲．膵癌に対する術前治療後切除成績：化学療法と化学放射線療法の比較．第 114 回日本外科学会　京都
2. 里井壯平，山上裕機，加藤健太郎，平野　聡，高橋進一郎，廣野誠子，竹田　伸，江口英利，庄　雅之，和田慶太，新地洋之，權　雅憲，木下　平，中尾昭公，永野浩昭，中島祥介，佐野圭二，宮崎　勝，高田忠敬．切除不能膵癌における集学的治療の一環としての外科切除の臨床的意義．第 26 回日本肝胆膵外科学会　和歌山
3. 里井壯平，柳本泰明，豊川秀吉，山本智久，廣岡　智，山木　壮，良田大典，道浦　拓，井上健太郎，松井陽一，權　雅憲．当科における adjuvant surgery の治療経験-局所進行膵癌との予後比較-．第 26 回日本肝胆膵外科学会　和歌山
4. 里井壯平，村上義昭，元井冬彦，川井　学，倉田昌直，庄　雅之，松本逸平，柳本泰明，山本智久，上村健一郎，海野倫明，山上裕機，本田五郎，木下正一，新関　亮，權　雅憲．膵癌根治切除患者における腹腔洗浄細胞診検査の臨床的意義．第 45 回日本膵臓学会　北九州
5. 里井壯平，柳本泰明，豊川秀吉，山本智久，廣岡　智，山木　壮，良田大典，權　雅憲．膵癌腹膜転移に対する新たな治療戦略：S-1＋パクリタキセル経静脈・腹腔内併用療法．第 45 回日本膵臓学会　北九州
6. 里井壯平，元井冬彦，上村健一郎，川井　学，倉田昌直，庄　雅之，松本逸平，柳本泰明，村上義昭．膵癌腹腔洗浄細胞診陽性患者に対する切除の意義はあるか？　第 69 回日本消化器外科学会　福島
7. 里井壯平、山本壮、豊川秀吉、柳本泰明、山本智久、廣岡智、良田大典、松井陽一、權　雅憲．膵頭十二指腸切除術クリニカルパスの導入とアウトカム達成率からみた周術期管理の標準化－過去 10 年間 458 名の検討－．第 41 回日本膵切研究会　東京
8. Satoi S. Recent Progress for Multidisciplinary Approch to Borderline Pancreatic Carcinoma Korea-Japan Pancreato-Biliary Collaborative Multicenter Symposium South Korea
9. Satoi S, Motoi F, Uemura K, Kawai M, Kurata M, Sho M, Matsumoto I, Yanagimoto H, Yamamoto T, Unno M, Yamaue H, Honda G, Akahori T, Asari S, Kwon AH, Murakami Y. Is surgical resection permitted in pancreatic cancer patients with positive peritoneal washing cytology? ISAGO2014 24th World Congress of the International Association of Surgions, Gastroenterologists and Oncologists, Austria.
10. Satoi S, Motoi F, Uemura K, Kawai M, Kurata M, Sho M, Matsumoto I, Yanagimoto H, Yamamoto T, Mizuma M, Yamaue H, Honda G, Nakajima Y, Asari S, Kwon AH, Nurakami Y. Can surgical resection be acceptable in pancreatic cancer patients with pasitive peritoneal washing cytology? COMBINED EPC & IAP MEETING, UK.
11. Satoi S, Motoi F, Uemura K, Kawai M, Kurata M, Sho M, Matsumoto I, Yanagimoto H, Unno M, Yamaue H, Honda G, Nakajima Y, Shinzeki M, Kwon AH, Nurakami Y. Reappraisal of peritoneal cytology in 984 patients with pancreatic cancer who underwent curative resection. DDW2014, USA.
12. Satoi S. A new strategy for pancreatic cancer with peritoneal metastasis. International Congress and the Third IASGO CME Postgraduate Course, Russia
13. Satoi S. A clinical role of adjuvant surgery (surgical resection during multi-modality treatment in initially UR pancreatic cancer patients). International Congress and the Third IASGO CME Postgraduate Course, Russia.
14. Satoi S, Yanagimoto H, Yamamoto T, Toyokawa H, Hirooka S, Yamaki S, Ryota H, Matsui Y, Kwon AH. Role of adjuvant surgery in initially unresectable pancreatic cancer after long-term chemotherapy or chemoradiation therapy-survival benefit? International Conference of Pancreatic Malignancy, Taiwan

講演（10）

1. 里井壯平　膵癌の集学的治療－長期生存に何が必要か？－　びわこ膵癌フォーラム 2014 2/14
2. 里井壯平　膵癌における集学的治療　最新トピックス　松山赤十字病院　膵癌セミナー
3. 里井壯平　膵癌の集学的治療～これまでとこれから～　第 18 回青森県消化器癌化学療法セミナー
4. 里井壯平　膵癌診療最前線　膵癌の集学的治療　JDDW2014 Kobe サテライトシンポジウム 92　2014/12　神戸
5. 里井壯平　膵癌の個別化治療—診断から集学的治療—　名古屋膵癌勉強会　名古屋
6. 里井壯平　膵癌根治への道　第6回九州肝胆膵治療勉強会　福岡
7. Satoi S. A clinical role of adjuvant surgery for initially unresectable pancreatic cancer. Mongolia Japanese joint VI Symposium. 2014
8. Satoi S. Multimodal treatment for patients with pancreatic ductal adenocarcinoma. The Queen Elizabeth Hospital University of Birmingham, UK.
9. Satoi S. Clinical significance of adjuvant surgery in patients with initially unresectable pancreatic cancer: - Results of a project study for pancreatic surgery – The 26th Meeting of Japanese Society of HBP Surgery in Wakayama　2014/6/13
10. Satoi S. “Is Surgeon Necessary for treating locally advance pancreatic cancer?” Taiwan National University Hospital.

座長（8）

1. Satoi S. SURGICAL AND COMBINED TREATMENT OF PANCREATIC CANCER-AROUND THE WORLD. International Congress and the Third IASGO CME Postgraduate Course. 2014 June, Russia

2. 里井壯平　第 13 回阪神膵臓外科研究会 2014/2/28 大阪

3. 里井壯平　ポスターセッション　P08 第 41 回日本膵切研究会 東京

4. 里井壯平　ポスターセッション(166)「膵　膵癌-2」 第 114 回日本外科学会　京都

5. 里井壯平　要望演題（ポスター）34　高齢者の肝胆膵疾患治療 4　第 26 回日本肝胆膵外科学会　和歌山

6. 里井壯平　ミニシンポジウム 1　膵癌に対する新たな治療戦略-切除可能膵癌　第 45 回日本膵臓学会　北九州

7. 里井壯平　MSG 切除膵癌研究の進行状況　第 4 回 MSG-PBS 胆膵外科研究会　大阪

8. 里井壯平　膵癌手術事例検討　名古屋膵癌勉強会　名古屋

中本　博之

発表（1）

1. 中本博之　北川克彦　小坂博久　小田道夫　山中英治. 成人特発性気腹症の2例. 第76回日本臨床外科学会総会　福島

肱川　健

発表（1）

1. 肱川　健、吉田　良、山田　正法、吉岡　和彦、權　雅憲. 指導医のいない、症例の少ない当院における腹腔鏡下大腸手術の課題. 第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡

山木　壮

発表（7）

1. 山木　壮, 里井壯平, 豊川秀吉, 柳本泰明, 山本智久, 廣岡　智, 由井倫太郎, 良田大典, 井上健太郎, 道浦　拓, 松井陽一, 權　雅憲. 膵癌根治切除患者における3群リンパ節転移の臨床的影響. 第114回日本外科学会総会、京都

2. So Yamaki, Sohei Satoi, Hiroaki Yanagimoto, Hideyoshi Toyokawa, Tomohisa Yamamoto, Satoshi Hirooka, Hironori Ryota, Taku Michiura, Kentaro Inoue, Yoichi Matsui, A-Hon Kwon. Clinical impact of peritoneal lavage cytology status in pancreatic cancer patients. IHPBA 11th worlu congress Seoul

3. 山木　壮、里井壯平、豊川秀吉、柳本泰明、山本智久、廣岡　智、由井倫太郎、良田大典、井上健太郎、道浦　拓、松井陽一、權　雅憲. 膵癌根治切除患者におけるリンパ節と予後に関する再考と 3 群リンパ節転移の臨床的影響. 第69回消化器外科学会総会 2014/7/16-18 郡山

4. 山木　壮　里井壯平　豊川秀吉　柳本泰明　山本智久　廣岡　智　良田大典　井上健太郎　松井陽一　權　雅憲. 膵癌根治切除患者における N2/3 リンパ節転移と予後の再考. 第26回日本肝胆膵外科学会　2014/6/11-13 和歌山

5. 山木　壮　里井壯平　豊川秀吉　柳本泰明　山本智久　廣岡　智　良田大典　道浦拓　井上健太郎　松井陽一　權　雅憲. 膵頭部癌 R0/1 切除例におけるリンパ節転移範囲と Surgical Complete Response rate. 第45回日本膵臓学会大会　2014/7/11-12 北九州

6. 山木壮　豊川秀吉　里井壯平　柳本泰明　山本智久　廣岡智　良田大典　松井陽一　權　雅憲. 化学放射線療法が奏功し根治切除しえた総胆管原発切除不能小細胞癌の1例. 2014 大阪胆道疾患研究会　大阪

7. 山木　壮　里井壯平　豊川秀吉　柳本泰明　山本智久　廣岡　智　良田大典　道浦拓　井上健太郎　松井陽一　權　雅憲. 膵頭部癌 R0/1 切除例におけるリンパ節転移範囲と Surgical Complete Resection rate. 第41回膵切研究会　2014/8/22-23 東京

稲田　涼

論文（5）

1.Ryo Inada, Seiichiro Yamamoto, Taihei Oshiro, Masashi Takawa, Shin Fujita, Takayuki Akasu, A case-matched comparison of the short-term outcomes between laparoscopic and open abdominoperineal resection for rectal cancer, Surgery Today, 2014; 44: 640-645

2.Ryo Inada, Seiichiro Yamamoto, Masashi Takawa, Shin Fujita, Takayuki Akasu, Laparoscopic resection of synchronous colorectal

cancers in separate specimens, Asian Journal of Endoscopic Surgery, 2014; 7: 227-231

3.Ryo Inada, Takeshi Nagasaka, Toshiaki Toshima, Yoshiko Mori, Yoshitaka Kondo, Hiroyuki Kishimoto, Toshiyoshi Fujiwara, Intussusception due to rectal adenocarcinoma in a young adult: A case report. World J Gastroenterol. 2014; 20: 12678-12681

4.Ryo Inada, Shigeki Sekine, Hirokazu Taniguchi, Hitoshi Tsuda, Hitoshi Katai, Toshiyoshi Fujiwara , Ryoji Kushima, ARID1A expression in gastric adenocarcinoma: Clinicopathological significance and correlation with DNA mismatch repair status, World Journal of Gastroenterology, 2014: in press

5.Ryo Inada, Takeshi Nagasaka, Toshiaki Toshima, Yoshiko Mori, Yoshitaka Kondo, Hiroyuki Kishimoto, Takao Hiraki, Taihei Oshiro, Yukihide Kanemitsu, Toshiyoshi Fujiwara, Aggressive multimodality treatment for advanced rectal cancer: report of a case, Acta medica Okayama, 2014; in press

発表（10）

1.稲田涼，永坂岳司，松本聖，母里淑子，近藤喜太，岸本浩行，浅野博昭，佃和憲，楳田祐三，平木隆夫，金澤右，八木孝仁，藤原俊義，直腸癌術後肺再発に対する CT ガイド下経皮的ラジオ波焼灼の短期・長期成績の検討，第 80 回大腸癌研究会，東京

2.稲田涼，永坂岳司，松本聖，母里淑子，近藤喜太，岸本浩行，楳田祐三，浅野博昭，佃和憲，横道直佑，久保田暢人，河合毅，吉田一博，竹原清人，森川達也，竹原裕子，平木隆夫，金澤右，八木孝仁，藤原俊義，大腸癌肺転移に対する CT ガイド下経皮的ラジオ波焼灼の短期・長期成績の検討，第 114 回日本外科学会定期学術集会，京都

3.稲田涼，永坂岳司，松本聖，母里淑子，近藤喜太，岸本浩行，浅野博昭，佃和憲，平木隆夫，金澤右，藤原俊義，大腸癌肺再発に対する CT ガイド下 RFA の短期・長期成績の検討，第 36 回日本癌局所療法研究会，大阪

4.稲田涼，永坂岳司，渡邉彩子，松本聖，戸嶋俊明，母里淑子，近藤喜太，岸本浩行，浅野博昭，佃和憲，藤原俊義，高齢者大腸癌に対する D3 郭清の短期・長期成績の検討，第 81 回大腸癌研究会，名古屋

5.稲田涼，永坂岳司，森川達也，母里淑子，楳田祐三，吉田一博，久保田暢人，竹原裕子，近藤喜太，藤原俊義，KRAS / NRAS / BRAF / PIK3CA / MSI 解析による多発大腸癌の遺伝子変異の不均一性の検討と臨床的意義，第 69 回日本消化器外科学会総会，福島

6.稲田涼，近藤喜太，母里淑子，岸本浩行，永坂岳司，平岡佐規子，藤原俊義，Colitic cancer および high grade dysplasia を合併した潰瘍性大腸炎の臨床病理学的検討，第 52 回日本癌治療学会，横浜

7.稲田涼，近藤喜太，母里淑子，岸本浩行，永坂岳司，藤原俊義，Colitic cancer / high grade dysplasia を合併した潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡下大腸全摘の治療成績の検討，第 26 回日本内視鏡外科学会総会，盛岡

8.稲田涼，近藤喜太，母里淑子，岸本浩行，永坂岳司，平岡佐規子，藤原俊義，Colitic cancer および high grade dysplasia を合併した潰瘍性大腸炎の臨床病理学的特徴，第 22 回 JDDW，神戸

9.稲田涼、永坂岳司、母里淑子、竹原裕子、竹原清人、佃和憲、平木隆夫、金澤右、藤原俊義，大腸癌肺転移に対する CT ガイド下経皮的ラジオ波焼灼術の短期・長期成績の検討，第 69 回日本大腸肛門病学会，横浜

10. 稲田涼，永坂岳司，渡邉彩子，八木朝彦，松本聖，母里淑子，近藤喜太，岸本浩行，浅野博昭，佃和憲，藤原俊義，高齢者大腸癌に対する D3 郭清の短期・長期成績の検討，第 76 回日本臨床外科学会総会，福島

座長（1）

1. 稲田涼，大腸，悪性（4），第 76 回日本臨床外科学会総会，福島

吉田　良

発表（2）

1. 吉田　良　岩城隆二　岡崎智　吉田秀行　權　雅憲. 終末期がん患者における消化管瘻孔の治療検討. 第19 回日本緩和医療学会総会、神戸

2. 吉田　良　岡崎　智　神原達也　金　成泰　權　雅憲. 切除不能大腸癌の緩和手術における術前評価の検討. 第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山

坪田　優

論文（1）

1. 坪田　優、末岡憲子、山本大悟、杉江知治. 乳癌術後に左鎖骨下リンパ節再発に対し Paclitaxel＋Bevacizumab が著効した 1 例. 癌と化学療法 2014 年 41 巻 12 号 p. 1954 –1956

発表（2）

1. 坪田　優、末岡憲子、山本大悟. 当院における高齢者乳癌手術症例の検討. 第 22 回日本乳癌学会学術総会、大阪
2. 坪田　優、末岡憲子、山本大悟. 乳房再建外来をゼロから立ち上げて. 第2回日本乳房オンコプラスティックサージェリー学会総会、東京

中竹　利知

発表（3）

1. 中竹　利知,海堀　昌樹,松井　康輔,石崎　守彦,松島　英之,坂口　達馬,井上　健太郎,松井　陽一,權　雅憲、肝癌肝切除周術期における術後早期回復プログラムによる栄養・運動療法の実践、第 26 回日本肝胆膵外科学会、和歌山
2. 中竹　利知,海堀　昌樹,松井　康輔,石崎　守彦,松島　英之,坂口　達馬,井上　健太郎,松井　陽一,權　雅憲、術後早期回復プログラムによる肝癌肝切除周術期栄養・運動療法の実践、第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山
3. Nakatake R, Okumura T, Miki H, Ueyama Y, Tsuda T, Nakamura Y, Tokuhara K, Kaibori M, Nishizawa M, Kwon AH、GLUTAMIC ACID HAS A LIVER-PROTECTIVE EFFECT THROUGH THE SUPPRESSION OF INDUCIBLE NITRIC OXIDE SYNTHASE 、36th ESPEN Congress On Clinical Nutrition & Metabolism、Switzerland

山本　大悟

論文（2）

1. Yamamoto D, Iwase S, Tsubota Y, Sueoka N, Yamamoto C. Randomized Study of Capecitabine Versus S-1 in Women with Metastatic or Recurrent Breast Cancer - Japan Breast Cancer Research Network (JBCRN) 05 Trial. Breast Cancer Res Treat, in press
2. 山本大悟、坪田優、末岡憲子. 乳房同時再建について. 癌と化学療法 in press

発表（3）

1. Yamamoto D, Iwase S, Tsubota Y, Sueoka N, Yamamoto C, Patient preference trial comparing capecitabine and S-1 in metastatic breast cancer patients. ASCO Chicago 2014.06
2. 山本 大悟, 徳永 伸也, 森本 卓, 高島 勉, 露木 茂, 増田 慎三. HER-2陰性進行・再発乳癌に対するweeklyパクリタキセル・ゲムシタビン併用療法の第II相試験(KMBOG1014). 第22回日本乳癌学会総会、大阪
3. 山本大悟、坪田優、末岡憲子. 当院の乳房インプラントによる再建術の工夫. 日本乳房オンコプラステックサージャリ学会、東京

福井　淳一

論文（3）

1. 福井淳一、井上健太郎、向出裕美、尾崎岳、道浦拓、徳原克治、岩本慈能、坂井田紀子、植村芳子、權　雅憲. 原因不明消化管出血を契機に発見された小腸 glomus 腫瘍の 1 例. 日本消化器外科学会雑誌、2014 年; 47 巻: 223-229
2. 福井淳一. 消化・吸収臓器のしくみとはたらき 胃. Nutrition Care、2014 年; 7 巻: 328-331
3. 福井淳一. 消化・吸収臓器のしくみとはたらき 食道. Nutrition Care、2014 年; 7 巻: 324-327

発表（5）

1. 福井淳一、井上健太郎、吉内佐和子、海堀昌樹、權　雅憲. 肥満合併胃癌患者に対するフォーミュラ食を用いた術前減量の取り組み. 第 29 回日本静脈経腸栄養学会学術集会、横浜
2. 福井淳一、井上健太郎、森茂生、向出裕美、尾崎岳、山田正法、道浦拓、中井宏治、中根恭司、權　雅憲. 当院における腹腔鏡内視鏡合同手術の経験, 第 86 回日本胃癌学会総会、横浜
3. 福井淳一、今村博司、西川和宏、岸健太郎、松山仁、赤丸祐介、木村豊、田村茂行、川端良平、川田純司、下川敏雄. 胃癌術後患者に対する成分栄養剤(エレンタール®)早期介入の有効性に関する多施設前向き無作為化比較試験. 第114回日本外科学会定期学術集会、京都
4. 福井淳一、道浦　拓、尾崎岳、向出裕美、井上健太郎、山道啓吾、濱田　円、權　雅憲. 高齢者食道癌の治療法および治療成績の検討. 第 68 回日本食道学会学術集会、東京
5. 福井淳一、井上健太郎、尾崎　岳、向出裕美、道浦　拓、徳原克治、里井壯平、海堀昌樹、濱田　円、權　雅憲. 腹腔鏡下胃切除

術における周術期 VTE 予防と合併症の検討. 第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山

岡崎　智

発表（1）

岡崎智　岩本慈能　徳原克治　吉岡和彦　吉田良　權　雅憲. 切除不能大腸癌に対し術前化学療法を行い切除可能となった7症例. 第 69 回日本大腸肛門病学会学術集会　横浜

山道　啓吾

発表（8）

1. 山道啓吾、齊藤卓也、菱川秀彦、植田愛子、田中義人. 細径鉗子を用いた 細径単孔式鼠径ヘルニア修復術 (Needle TANKO-TAPP)の有用性について. 3rd Reduced Port Surgery Forum 2014 (第 8 回単孔式内視鏡手術研究会)、福井
2. 山道啓吾、齊藤卓也、菱川秀彦、植田愛子、上山庸佑、元廣高之. 単孔式腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(TANKO-TAPP) における術後疼痛軽減化の工夫　—アプローチ法変更と細径化—. 第 10 回 Needlescopic Surgery Meeting、鎌倉
3. 山道啓吾、齊藤卓也、菱川秀彦、上山庸佑、植田愛子、田中宏典, 元廣高之. 術後疼痛が少なく, 整容性に優れた TAPP 法による単孔式腹腔鏡下ヘルニア修復術. 第 114 回日本外科学会定期学術集会　京都
4. 山道啓吾, 齊藤卓也, 菱川秀彦, 植田愛子, 上山庸佑, 元廣高之. 煩雑な単孔式腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(TAPP)への挑戦と標準化に向けた工夫. 第 12 回日本ヘルニア学会学術集会　東京
5. 山道啓吾、齊藤卓也、菱川秀彦、植田愛子、上山庸佑、元廣高之. 術後疼痛や整容性に優れた 単孔式腹腔鏡下ヘルニア修復術 (TAPP). 第 69 回日本消化器外科学会総会　郡山
6. 山道啓吾, 齊藤卓也, 菱川秀彦, 植田愛子, 中竹利知, 田中宏典, 元廣高之. SOX, IRIS 療法を含む集学的治療により長期生存が得られている進行再発大腸癌の一例. 第 52 回日本癌治療学会学術集会　横浜
7. 4山道啓吾、齊藤卓也、菱川秀彦、植田愛子、田中義人. 2-5-5mm マルチトロッカー・TAPP 法による細径単孔式鼠径ヘルニア修復術 (Needle TANKO-TAPP). 第 27 回日本内視鏡外科学会総会　盛岡
8. 山道啓吾、齊藤卓也、菱川秀彦、植田愛子、田中義人. 細径鉗子を用いた細径単孔式鼠径ヘルニア修復術（Needle TANKO-TAPP）—術後疼痛の軽減と整容性の向上を求めて—. 第 76 回日本臨床外科学会総会　郡山

講演（8）

1. 山道啓吾, 齊藤卓也. 大腸憩室炎に対する治療戦略（内視鏡的ドレナージの有用性について）. 武田薬品社外講師講演会　大阪
2. 山道啓吾. 食道癌治療　ー最近の話題ー. 鳥居薬品社外講師講演会　大阪
3. 山道啓吾, 齊藤卓也. StageIV・再発大腸癌の治療. 中外製薬社外講師講演会　大阪
4. 山道啓吾, 齊藤卓也. StageIV・再発大腸癌の治療. 大鵬薬品社外講師講演会　大阪
5. 山道啓吾, 齊藤卓也. 食道癌治療　ー最近の話題ー. 持田製薬社外講師講演会　大阪
6. 山道啓吾、齊藤卓也、菱川秀彦、植田愛子、田中義人. TAPP 法による単孔式腹腔鏡下ヘルニア修復術. 平成 26 年度関西医科大学外科同門会総会　学術講演会　大阪
7. 山道啓吾、齊藤卓也、菱川秀彦、植田愛子、田中義人. 一般市中病院における最新外科治療. 第 5 回済生会一般外科・消化器外科研究会学術講演会　大阪
8. 山道啓吾, 齊藤卓也. 当院における がん地域連携パス導入と運用の工夫. 平成 26 年度第 2 回大阪市がん診療ネットワーク協議会　大阪

座長（7）

1. 山道啓吾. 大正泉尾フォーラム「第 20 回病診連携研修会」 大阪
2. 山道啓吾. Session 1. 第 17 回近畿外科病態研究会　大阪
3. 山道啓吾. 教育講演. 第 3 回京阪神腫瘍外科フォーラム　大阪
4. 山道啓吾. 演題 2　アドバイザー. 第 24 回近畿過大侵襲研究会　大阪
5. 山道啓吾. Lecture 2. がんチーム医療ワークショップ　大阪
6. 山道啓吾. 特別講演. Meet The Experts - Colorectal Cancer Meeting 大阪
7. 山道啓吾. 特別講演. 大腸がん治療セミナー　大阪

中村　有佑

発表（8）

1. Yusuke Nakamura, Yoshinori Hamada, Kohei Takada, A-Hon Kwon. Postoperative complications of umbilical stomas in neonates compared with the conventional stoma site. PAPS2014, Banff CANADA 2014,5,27
2. 中村有佑、濵田吉則、高田晃平、權　雅憲. 小児人工肛門造設術における合併症についての検討. 日本外科学会総会、京都
3. 中村有佑、橋本祐希、坂口達馬、高田晃平、濵田吉則. 臍部人工肛門造設術における合併症についての検討. 日本小児外科学会総会、大阪
4. 中村有佑、濵田吉則、高田晃平、權　雅憲. 小児外科研修のあり方について～後期研修医の立場から～. 日本小児外科学会総会、大阪
5. 中村有佑、高橋良彰、高田晃平、濵田吉則. 肉眼的血尿を契機に発見された Wilms 腫瘍の 1 例. 日本小児血液がん学会、岡山、
6. 中村有佑、高橋良彰、中井陽子、濵田　洋、高田晃平、權　雅憲、濵田吉則. 巨大嚢胞性胎便性腹膜炎の 1 例. 小児外科近畿地方会、大阪
7. 中村有佑、高橋良彰、濵田　洋、濵田吉則、佐藤正人. 細径の肝管空腸吻合部縫合不全に対し、肝門部空腸吻合術を施行した胆道拡張症の 1 例. PSJM2014、淡路島
8. 中村有佑、高田晃平、濵田吉則. 新生児消化管穿孔に関する後方視的検討. 日本周産期・新生児医学会学術集会、千葉

海堀　昌樹

論文（19）

1. Kaibori M, Adachi Y, Shimo T, Ishizaki M, Matsui K, Tanaka Y, Ohishi M, Araki Y, Tokuhara K, Okumura T, Nishizawa M, Kwon AH. Bone Marrow Cells Enhance Liver Regeneration After Massive Hepatectomy in Mice.Dig Dis Sci. 2014 Jul;59(7):1484-9. doi: 10.1007/s10620-014-3032-7. Epub 2014 Jan 23.
2. Kaibori M, Shimizu J, Hayashi M, Nakai T, Ishizaki M, Matsui K, Kim YK, Hirokawa F, Nakata Y, Noda T[6] Dono K, Nozawa A, Kwon M, Uchiyama K, Kubo S. Late-onset bile leakage after hepatic resection. Surgery. 2014 Sep 24. pii: S0039-6060(14)00313-4. doi: 10.1016/j.surg.2014.05.026.
3. Kaibori M, Shikata N, Sakaguchi T, Ishizaki M, Matsui K, Iida H, Tanaka Y, Miki H, Nakatake R, Okumura T, Tokuhara K, Inoue K, Wada J, Oda M, Nishizawa M, Kon M. Influence of Rictor and Raptor Expression of mTOR Signaling on Long-Term Outcomes of Patients with Hepatocellular Carcinoma. Dig Dis Sci. 2014 Nov 5.
4. Kaibori M, Kubo S, Nagano H, Hayashi M, Nakai T, Ishizaki M, Matsui K, Uenishi T, Takemura S, Wada H, Marubashi S, Komeda K, Hirokawa F, Nakata Y, Uchiyama K, Kwon M. Higher complication rate in hepatocellular carcinoma patients undergoing prophylactic cholecystectomy with curative hepatic resection. Hepatogastroenterology 2014; 61: 2028-2034.
5. Kaibori M, Kariya S, Matsui K, Ishizaki M, Ikeda H, Nakahashi Y, Hirohara J, Ha-Kawa SK, Tanigawa N, Sawada S, Okazaki K, Kwon AH. Detection of portal vein stenosis by technetium-99m-diethylenetriaminepentaacetic acid-galactosyl human serum albumin liver scintigraphy after living-donor liver transplantation. Hepatogastroenterology 2014; 61: 00-00 doi 10,5754/hge13143.
6. Kaibori M, Ishizaki M, Matsui K, Kwon M, Imai R, Watanabe S, Norimoto H. Sorafenib alone versus a combination of sorafenib and ninjin'yoeito for the treatment of patients with advanced hepatocellular carcinoma: a retrospective study and pharmacological study in rats. J Trad Med 30(5/6): 221-228, 2014
7. 海堀　昌樹、松井　康輔、石崎　守彦、松島　英之、坂口　達馬、大西　修司、山岡　学、阿部　操、寺西　節子、市邊　明美、岡前　文子、有元　美代子、徳永　裕彦、權　雅憲. 当科での肝細胞癌切除術における貯血式自己血輸血の有用性に関する検討. 自己血輸血. 26 (1): 23-29, 2014.
8. 海堀　昌樹, 中村　竜也, 松井　康輔, 石崎　守彦, 坂口　達馬, 松島　英之, 松本　研二, 權　雅憲.【予防投与抗菌薬】肝障害併存肝細胞癌切除術における術中予防的抗菌薬投与時間の腎機能別検討. 日本外科感染症学会雑誌. 11(1): 43-50, 2014.
9. 海堀　昌樹. 肝胆膵外科領域における術後回復促進策実践での問題点. 外科と代謝・栄養. 48(2): 43-50, 2014.
10. 海堀　昌樹, 石橋　生哉, 谷口　英喜, 深柄　和彦, 若林　秀隆, 鷲澤　尚宏, 宮田　剛, 日本外科代謝栄養学会周術期管理ワーキンググループ. 日本外科代謝栄養学会評議員在籍施設における周術期管理の現状. 外科と代謝・栄養. 48(2): 69-80, 2014.
11. 海堀　昌樹.【各種肝疾患病態における臨床栄養の役割】巻頭言：特集にあたって. 臨床栄養. 臨床栄養. 125(2): 146-147, 2014.

12. 海堀 昌樹, 權 雅憲, 福島 亮治, 大村 健二.【高齢者外科:周術期栄養管理をめぐる諸問題】高齢者手術の周術期栄養管理における成績評価上の問題点. 外科と代謝・栄養. 48(4): 115-124, 2014.

13. 海堀 昌樹,飯田 洋也,松井 康輔, 石崎 守彦, 松島 英之, 坂口 達馬, 井上健太郎, 權 雅憲.【高齢者の術後早期回復はどこまで可能か？-現実と課題-】高齢肝がん患者の術後早期回復のための課題. 静脈経腸栄養 29(6): 47(1323)-55(1331), 2014.

14. 海堀昌樹、水田敏彦、西口修平. 肝機能障害. 悪液質とサルコペニア(リハビリテーション栄養アプローチ), pp144-152, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2014.

15. 海堀昌樹、谷口英喜. 鎮痛方法と痛みの評価. ESSENSE,p82-99,春恒社, 東京, 2014.

16. 海堀昌樹. 消化器外科領域におけるドレーンの可否. ESSENSE, pp112-125,春恒社, 東京, 2014.

17. 海堀昌樹. 1 術前の処置. Q16 術前の輸液は必要？. 術前・術後ケアの「これって正しい？」Q&A 100, pp24-25, 昭林社, 東京, 2014.

18. 海堀昌樹. 9 栄養管理. Q83 消化管の手術ではない場合、翌日まで絶飲食する必要があるの？. 術前・術後ケアの「これって正しい？」Q&A 100, pp147, 昭林社, 東京, 2014.

19. 海堀昌樹. 9 栄養管理. Q94 術後の経口栄養も推奨されているって本当？. 術前・術後ケアの「これって正しい？」Q&A 100, pp169-170, 昭林社, 東京, 2014.

発表（25）

1. M.Kaibori. Clinical Applications of Indocyanine Green Fluorescent Imaging to Liver Surgery. Symposium session, 13th Annual Surgery of the Foregut Symposium, Florida

2. Masaki Kaibori. Conparison of limited and anatomic hepatic resection gor hepatocellular carcinoma with hepatitis C. 11th World Congress of the international Hepato-Pancreato-Biliary Association, Seoul

3. Masaki Kaibori, Kousuke Matsui, Hiroya Iida, Morihiko Ishizaki, Tatsuma Sakaguchi, Hideyuki Matsushima, Yasuaki Yanagimoto, Masanori Kwon. Novel techniques to reduce postoperative complications after liver surgery, Symposium, Daegu-Kansai HBP Surgeons Joint Meeting 2014

4. Masaki Kaibori, Hiroya Iida, Kousuke Matsui, Morihiko Ishizaki, Tatsuma Sakuguchi, Hideyuki Mtsushima, Kentaro Inoue, Masanori Kwon. Novel techniques to reduce postoperative complications after liver surgery. Symposium session, The 31st Congress of the Pan-Pacific Surgical Association Japan Chapter in Taipei, Taiwan

5. 海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、坂口達馬、松島英之、福井淳一、井上健太郎、大北沙由利、權 雅憲. 肝臓外科手術における術後疼痛の評価とその対策. シンポジウム、第 29 回日本静脈経腸栄養学会学術集会、横浜

6. 海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、坂口達馬、松島英之、井上健太郎、權 雅憲. Novel techniques to reduce postoperative complications after liver surgery international Sessin. 第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都

7. 海堀昌樹、石崎守彦、權雅憲 当科での進行肝細胞癌に対するソラフェニブを中心とした集学的治療. パネルディスカッション、第 100 回日本消化器病学会総会、東京

8. 海堀昌樹、石崎守彦、松井康輔、坂口達馬、松島英之、井上健太郎、權 雅憲. 門脈腫瘍塞栓を伴う進行肝細胞癌に対する sorafenib を中心とした集学的治療戦略. シンポジウム、第 26 回日本肝胆膵外科学会・学術集会 和歌山

9. 海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、坂口達馬、松島英之、小田道夫、井上健太郎、松井陽一、權 雅憲. ICG 赤外観察カメラシステムを用いた肝切除後胆汁瘻試験 234 例の検討. 第 26 回日本肝胆膵外科学会・学術集会 和歌山

10. 海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、石崎守彦、飯田洋也、坂口達馬、松島英之、福井淳一、井上健太郎、宮田剛、權 雅憲. ESSENSE プログラムによる肝癌肝切除周術期管理の実践. スポンサードシンポジウム、第 39 回日本外科系連合学会学術集会、東京

11. 海堀昌樹、永野浩昭、林道廣、中居卓也、寺嶋宏明、塚本忠司、高済峯、相原司、木戸正浩、生駒久視、上野昌樹、野見武男、久保正二. 関西肝臓外科医育成の会の取り組みと今後の課題. パネルディスカッション、第 39 回日本外科系連合学会学術集会、東京

12. 海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、飯田洋也、坂口竜馬、松島英之、福井淳一、井上健太郎、宮田剛、權 雅憲. ESSENSE プログラムによる肝癌肝切除周術期管理の実践. ワークショップ、日本外科代謝栄養学会第 51 回学術集会、大阪

13. 海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、飯田洋也、坂口達馬、松島英之、井上健太郎、權 雅憲. 高齢者総合機能評価を用いた高齢者肝癌外科治療指針の提案. シンポジウム、第 17 回日本高齢消化器病学会総会 山口

14. 海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、坂口達馬、松島英之、井上健太郎、小田道夫、松井陽一、權 雅憲. 高齢者癌に対する高齢者総合機能評価を用いた外科治療指針再考の提案. 第 69 回日本消化器外科学会総会 福島

15. 海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、坂口達馬、松島英之、井上健太郎、權 雅憲. 高齢者癌に対する高齢者総合機能評価を用いた外科治療指針再考の提案. ワークショップ、第 12 回日本臨床腫瘍学会学術集会、福岡

16. 海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、坂口達馬、松島英之、井上健太郎、權　雅憲. 高齢者癌に対する高齢者総合機能評価を用いた外科治療指針再考の提案. 第 52 回日本癌治療学会学術集会　横浜

17. 海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、飯田洋也、坂口達馬、松島英之、福井淳一、井上健太郎、松井陽一、權　雅憲. 鏡視下肝癌切除術での術後痛評価および完全ペインフリーへの試み. 第 27 回日本内視鏡外科学会総会　盛岡

18. 海堀昌樹、石崎守彦、松井康輔、飯田洋也、權　雅憲. 高齢者癌に対する高齢者総合機能評価を用いた外科治療指針再考の提案. シンポジウム、第 27 回日本サイコオンコロジー学会総会　東京

19. 海堀昌樹、松井康輔、權　雅憲　　. 高齢者肝細胞癌に対する高齢者総合機能評価を用いた外科治療指針再考の提案. ワークショップ、第 18 回日本肝臓学会大会講演　兵庫

20. 海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、飯田洋也、坂口達馬、松島英之、井上健太郎、登尾啓史、權　雅憲. 実臨床使用を目指した肝切除術中 navigationsystem の開発. シンポジウム、第 76 回日本臨床外科学会総会　福島

21. 海堀昌樹、石崎守彦、松井康輔、飯田洋也、坂口達馬、松島英之、中竹利知、權　雅憲. 進行肝細胞癌周術期における癌免疫栄養療法に関する検討. 第 45 回日本消化吸収学会総会　東京

22. 海堀昌樹、松井康輔、飯田洋也、石崎守彦、坂口達馬、松島英之、道浦　拓、井上健太郎、權　雅憲. 当科での肝切除術 ERAS プロトコール導入および手術手技改良による SSI 予防対策. シンポジウム、第 27 回日本外科感染症学会総会学術集会　東京

23. 海堀昌樹、石崎守彦、松井康輔、松島英之、坂口達馬、徳原克治、岩本慈能、井上健太郎、濱田円、吉岡和彦、權　雅憲. 大腸癌肝転移に対する肝切除と周術期化学療法の治療成績ならびに術前化学療法の有用性に関する検証. ワークショップ　第 50 回日本肝癌研究会　京都

24. 海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、飯田洋也、權雅憲松井康輔、石崎守彦、坂口達馬、松島英之、井上健太郎、權　雅憲. 進行再発肝細胞癌の集学的治療における漢方・人参養栄湯の有用性. 第 36 回日本癌局所療法研究会 2014　大阪

25. 海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、飯田洋也、權　雅憲. 肝切除術後難治性腹水および遅発性胆汁漏に対する手術時腹腔ドレーン挿入の必要性. スポンサードシンポジウム　第 8 回肝臓内視鏡外科研究会　福島

講演（7）

1. 海堀昌樹. 若手肝胆膵外科医を増やすために今私たちがやらなければならない手術・研究・教育. 特別講演　第 2 回 TTS 肝胆膵アカデミックセミナー　東京

2. 海堀昌樹. 進行再発肝細胞癌の集学的治療における漢方薬人参養栄湯の有用性. 特別講演　クラシエ漢方講演会「がん化学療法に対する漢方薬の支持療法」 大阪

3. 海堀昌樹. 肝臓切除手術における先進的シミュレーションおよびナビゲーションシステムの開発. 共同開発提案セッション　第 1 回次世代医療システム産業化フォーラム 2014　大阪

4. 海堀昌樹. SPIES システムがもたらす、新たな腹腔鏡下肝切除手術戦略. ランチョンセミナー　第 26 回日本肝胆膵外科学会・学術集会　和歌山

5. 海堀昌樹. 筋肉の質および量は本当に改善するのか？　ランチョンセミナー　第 69 回日本消化器外科学会総会　福島

6. 海堀昌樹. 腹腔鏡下肝切除におけるデバイス選択とトピックス. ランチョンセミナー　第 36 回日本癌局所療法研究会 2014 大阪

7. 海堀昌樹. 当科での高齢者肝細胞がん切除成績よりみた外科治療指針再考の提案. 特別講演　多地点合同メディカル・カンファレンス[2014-第 6 回]

海堀昌樹. 当科における進行肝癌に対する集学的治療の現状. 特別講演　北河内進行肝癌治療カンファレンス 大阪

座長（10）

1. 海堀昌樹. 肝ポスターセッション. 第 114 回日本外科学会定期学術集会　京都

2. 海堀昌樹. 肝臓・腹腔鏡手術. ポスターセッション、第 26 回日本肝胆膵外科学会・学術集会　和歌山

3. 海堀昌樹. 栄養 2　ミニオーラル. 第 69 回日本消化器外科学会総会　福島

4. 海堀昌樹. 肝臓　手術手技・功績 2　一般演題. 第 27 回日本内視鏡外科学会総会　盛岡

5. 海堀昌樹. 肝　ポスターセッション. 第 114 回日本外科学会定期学術集会　京都

6. 海堀昌樹. 腹腔鏡下肝切除　現状から適応拡大に向けて.　第 42 回近畿肝臓外科研究会　大阪

7. 海堀昌樹. 肝胆外科領域における開腹および鏡視下 ICG 蛍光法の有用性について. 教育講座　第 7 回蛍光 Navifation Surgery 研究会　京都

8. 海堀昌樹. 高齢者癌手術の周術期管理　臨床. 第 10 回日本外科代謝栄養学会教育セミナー　大阪

9. 海堀昌樹. 肝臓の病気～最新の治療や食事療法を知ろう～. 関西医科大学市民公開講座　大阪

10. 海堀昌樹. 腹腔鏡下肝切除におけるバイポーラ型ラジオ波電極（Aquamantys）を用いた Precoagulation. 第 33 回 Micrwave Surgery 研究会　大阪

松井　康輔

発表（9）

1. 松井康輔、海堀正樹、石崎守彦、坂口達馬、松島英之、井上健太郎、小田道夫、權　雅憲. 当科での肝静脈根部存在肝癌に対する治療戦略. 第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都
2. 松井康輔、海堀昌樹、石崎守彦、松島英之、坂口達馬、井上健太郎、權　雅憲. 安全な肝切除を目指した術前 3D Virtual hepatectomy と術中 nabigation system の開発. 第 26 回日本肝胆膵外科学会・学術集会、ビデオシンポ、和歌山
3. 松井康輔、海堀正樹、石崎守彦、松島英之、坂口達馬、小田道夫、井上健太郎、權　雅憲. 肝切除周術期感染症に対する当科での取り組みと現状. 第 26 回日本肝胆膵外科学会・学術集会、和歌山
4. 松井康輔、海堀昌樹、石崎守彦、坂口達馬、松島英之、井上健太郎、權　雅憲. 正確な肝切除術を目指した術前 3DVirtual hepatectomy と術中 navigation system の開発. 第 39 回日本外科系連合学会学術集会、パネルディスカッション、東京
5. 松井康輔、海堀昌樹、石崎守彦、松島英之、小田道夫、井上健太郎、權　雅憲. 当科における肝切除術期感染症に対する取り組みと現状. 第 69 回日本消化器外科学会総会、福島
6. 松井康輔、海堀昌樹、石崎守彦、飯田洋也、松島英之、坂口達馬、井上健太郎、權　雅憲. 肝切除における静脈性出血に対するトラブルシューティング. 第 76 回日本臨床外科学会総会、特別演題、福島
7. 松井康輔、海堀昌樹、石崎守彦、飯田洋也、權　雅憲. 問題症例検討会. 第 50 回日本肝癌研究会, 京都
8. 松井康輔、海堀昌樹、石崎守彦、飯田洋也、權　雅憲. 肝切除における術前および術中画像支援の取り組みと今後の展望. 第 9 回肝癌治療シミュレーション研究会、大阪
9. 松井康輔、海堀昌樹、石崎守彦、飯田洋也、權　雅憲. 当科における腹腔鏡下系統的肝切除を安全に行うための工夫. 第 8 回肝臓内視鏡外科研究会、ワークショップ、福島

中谷　和義

発表（2）

1. 中谷和義、徳原克治、松浦節、吉岡和彦、權　雅憲. 盲腸憩室に発生した low grade mucinous neoplasia の一例. 第 69 回大腸肛門病学会、横浜
2. 中谷和義、徳原克治、松浦節、吉岡和彦、權　雅憲. 腹腔鏡下に切除した盲腸憩室原発 low grade mucinous neoplasia の一例. 日本内視鏡外科学会、盛岡

尾崎　岳

発表（2）

1. 尾崎岳　、福井淳一、向出裕美、道浦　拓、徳原克治、井上健太郎、海堀昌樹、里井壮平、濱田　円、權　雅憲. 当院における P0CY1 胃癌の手術後治療成績. 第 69 回消化器外科学会総会、郡山
2. 尾崎　岳、 道浦　拓、 橋本祐希、向出裕美、井上健太郎、濱田　円、權　雅憲. CPT-11+CDDP 化学療法が著効した食道内分泌細胞癌の 1 例. 第 52 回日本癌治療学会学術集会、横浜

飯田　洋也

論文（2）

1. 飯田　洋也, 海堀　昌樹, 松井　康輔, 石崎　守彦, 松島　英之, 坂口　達馬, 權　雅憲. 肝細胞癌　高齢者肝細胞癌切除成績よりみた外科手術治療指針と周術期管理について. 消化器外科、37(9)、1425-1431、2014
2. 飯田　洋也, 海堀　昌樹, 松井　康輔, 石崎　守彦, 井上健太郎, 權　雅憲.【消化器外科手術ピットフォールとリカバリーショット】II. 各論　5.肝 b)　肝動脈損傷,胆汁漏,胆管損傷への対応、外科、76(12)、1420-1426、2014

発表（2）

1. 飯田洋也、海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、松島英之、坂口達馬、井上健太郎、權　雅憲. ICG　蛍光法を用いた腹腔鏡下肝切除ナビゲーション. 第 76 回日本臨床外科学会総会、福島
2. 飯田洋也、海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、松島英之、坂口達馬、權　雅憲. ICG　蛍光法を用いた腹腔鏡下肝切除における術中ナビゲーション. 第 9 回肝癌治療シミュレーション研究会、大阪

末岡　憲子

発表（2）

1. 末岡憲子、坪田優、山本大悟. 当院における乳腺葉状腫瘍の検討. 第 22 回日本乳癌学会学術総会、大阪

2. 末岡憲子、坪田優、山本大悟. 広背筋皮弁再建術後 2 年目で同側乳房に再発した 1 例. 第 2 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会、東京

石崎　守彦

論文（5）

1、石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、中竹利知、松島英之、坂口達馬、權　雅憲. 肝細胞癌肝切除後の合併症対策-危険因子に関する検討. 外科、2014, vol76, No1, p47-51

2、石崎守彦、權　雅憲. 進行肝細胞癌に対する集学的治療の進歩. 日本医事新報、:No.4697　2014 年 5 月 3 日

3、石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、飯田洋也、中竹利知、松島英之、坂口達馬、權　雅憲. 腹腔鏡下肝切除における手術手技の工夫. 癌と化学療法、第41巻12号、p1494-1496、20147

4. 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、飯田洋也、權　雅憲、永野浩昭、和田浩志、久保正二、竹村茂一、木下正彦、内山和久、林道廣、廣川文鋭、米田浩二、中居卓也. 切除可能大腸癌肝転移症例に対する術前化学療法の意義に関する多施設共同研究. 癌の臨床、第60巻、第5号、p503-508、2014

5. 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、飯田洋也、坂口達馬、松島英之、中竹利知、權　雅憲. 進行肝細胞癌の周術期ならびに術後化学療法施行時における癌免疫栄養療法に関する検討. 臨床栄養、vol:125、No2、p163-168、2014

発表（16）

1. 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、松島英之、坂口達馬、井上健太郎、權　雅憲. 進行再発肝細胞癌に対する Sorafenib を主軸とした集学的治療. 第9回肝がん分子標的治療研究会、パネルディスカッション、東京

2. 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、坂口達馬、松島英之、井上健太郎、權　雅憲. 当科での鏡視下肝切除における安全な手術手技の工夫. 第 42 回　近畿肝臓外科研究会、大阪

3. normalization after surgery with patient’s excellent satisfaction after hepatectomy for liver tumors the 11th World Congress of the International Hepato-Pancreato-Biliary Association(IHPBA World Congress 2014)、韓国

4. 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、飯田洋也、權　雅憲、永野浩昭、和田浩志、久保正二、竹村茂一、木下正彦、内山和久、林道廣、廣川文鋭、米田浩二、中居卓也. 切除可能大腸癌肝転移症例に対する術前化学療法の意義に関する多施設共同研究. 平成 26 年大阪肝臓外科臨床研究検討会　学術講演会、大阪

5. 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、飯田洋也、權　雅憲、永野浩昭、和田浩志、久保正二、竹村茂一、木下正彦、内山和久、林道廣、廣川文鋭、米田浩二、中居卓也. 切除可能大腸癌肝転移症例に対する術前化学療法の意義に関する多施設共同研究. 第114回日本外科学会定期学術集会、シンポジウム、京都

6. 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、飯田洋也、坂口達馬、井上健太郎、權　雅憲. 当科での sorafenib 症例における 3 年以上長期生存症例に関する検討. 第50回日本肝癌研究会、京都

7. 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、飯田洋也、松島英之、井上健太郎、權　雅憲. 当科での進行・大型肝癌に対する集学的治療戦略と治療成績. 第50回日本肝癌研究会、京都

8. 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、飯田洋也、權　雅憲、永野浩昭、和田浩志、久保正二、竹村茂一、木下正彦、内山和久、林道廣、廣川文鋭、米田浩二、中居卓也. 多施設共同研究による切除可能大腸癌肝転移に対する術前化学療法の意義に関する検討. 第26回日本肝胆膵外科学会学術集会、和歌山

9. 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、飯田洋也、坂口達馬、井上健太郎、權　雅憲. 鏡視下肝切除における AquamantysTM Bipolar を用いた安全な手術手技の工夫. 第26回日本肝胆膵外科学会学術集会、和歌山

10. 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、飯田洋也、松島英之、井上健太郎、權　雅憲. 進行肝細胞癌におけるがん免疫栄養療法の検討. 第26回日本肝胆膵外科学会学術集会、和歌山

11. 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、飯田洋也、坂口達馬、井上健太郎、權　雅憲. 腹腔鏡下肝切除における手術手技の工夫および定量的疼痛評価. 第 36 回日本癌局所療法研究会、八尾

12. 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、飯田洋也、坂口達馬、松島英之、中竹利知、井上健太郎、權　雅憲. 大腸癌肝転移に対する肝切除を中心とした周術期化学療法の治療成績および術前化学療法の有用性に関する検証. 第69回日本消化器外科学会総会、ワークショップ、郡山

13. 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、飯田洋也、坂口達馬、松島英之、中竹利知、井上健太郎、權　雅憲. 症例検討　根治切除を施

行し得た大腸癌両葉多発同時性肝転移の1例. 第9回肝癌治療シュミレーション研究会、大阪

14. sorafenib を軸とした集学的治療ならびに肝動注併用療法の費用対効果に関する検討. JDDW 2014、パネルディスカッション、東京

15. 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、飯田洋也、坂口達馬、井上健太郎、權 雅憲. 高齢者癌に対する高齢者総合機能評価を用いた外科治療指針再考の提案. 第27回日本サイコオンコロジー学会総会、東京

16. 石崎守彦、海堀昌樹、松井康輔、飯田洋也、松島英之、坂口達馬、徳原克治、井上健太郎、岩本慈能、濱田円、吉岡和彦、權 雅憲. 大腸癌多発肝転移肝切除症例における予後因子の解析および再切除を軸とした治療戦略. 第76回日本臨床外科学会総会、福島、2014/11/22

岩本 慈能

論文（1）

1. Shigeyoshi Iwamoto, Shoichi Hazama, Takeshi Kato,Yasuhiro Miyake, Mutsumi Fukunaga, Chu Matsuda,Hiroyuki Bando, Junichi Sakamoto, Koji Oba, Hideyuki Mishima. Multicenter phase ii study of second-line cetuximab plus folinic acid/5-fluorouracil/irinotecan (folfiri) in *kras* wild-type metastatic colorectal cancer: The FLIER Study: Anticancer Research *34*: 1967-1974 (2014)

発表（3）

1. 岩本慈能、大石賢玄、岳、岡崎 智、吉岡和彦、道浦 拓、井上健太郎、權 雅憲. cStage4 大腸がんに対する治療戦略-原発巣切除のタイミング-. 第 69 回日本消化器外科学会総会、福島

2. 岩本慈能、浜田 円、岡崎 智、吉岡和彦、向出裕美、道浦 拓、井上健太郎、權 雅憲. 大腸がん腹膜播種症例に対する治療経験. 第 51 回日本癌治療学会、横浜

3. 岩本慈能、浜田 円、大石賢玄、道浦 拓、井上健太郎、權 雅憲. 結腸・直腸癌に対する術後補助療法としの mFOLFOX6/Xelox 療法. 第 51 回日本癌治療学会、横浜

三木 博和

論文（1）

1. 三木博和、上原正憲、 長谷川健司. 絞扼性腸閉塞を発症した移動盲腸症の 1 例. 外科、2014 年;76 巻 4 号:436-438

発表（5）

1. 三木博和、徳原克治、大石賢玄、田中義人、中竹利知、海堀昌樹、奥村忠芳、權 雅憲. 漢方薬・柴苓湯の肝保護効果;誘導型一酸化窒素合成酵素の発現抑制. 第 114 回日本外科学会学術集会、京都

2. 三木博和、徳原克治、大石賢玄、上山庸佑、津田 匠、中村有佑、中竹利知、田中義人、海堀昌樹、西澤幹雄、奥村忠芳、權 雅憲. 漢方薬・柴苓湯によるラット初代培養肝細胞の誘導型一酸化窒素合成酵素の抑制. 第 51 回日本外科代謝栄養学会学術集会、豊中

3. 三木博和、大石賢玄、徳原克治、田中義人、中竹利知、海堀昌樹、奥村忠芳、西澤幹雄、權 雅憲. ラット DSS 誘発性大腸炎モデルに対するフルバスタチンの効果. 第 69 回日本消化器外科学会総会。、郡山

4. 三木博和、徳原克治、上山庸佑、中村有佑、津田匠、中竹利知、田中義人、海堀昌樹、奥村忠芳、西澤幹雄、權 雅憲. 漢方薬・柴苓湯の "*in vitro* 肝障害モデル" を用いた誘導型一酸化窒素合成酵素の抑制を介した肝保護効果. 第 22 回統合医療機能性食品国際会議 ICNIM2014、札幌

5. Hirokazu Miki, Katsuji Tokuhara, Masaharu Oishi, Yosuke Ueyama, Yusuke Nakamura, Takumi Tsuda, Richi Nakatake, Yoshito Tanaka, Masaki Kaibori, Tadayoshi Okumura, Mikio Nishizawa, and A-Hon Kwon. Protective effects of adenosine in dextran sodium sulfate-induced rat colitis model. 36th ESPEN CONGRESS、ジュネーヴ

菱川 秀彦

発表（2）

1. 菱川秀彦 斉藤 卓也 上山 庸佑 、植田 愛子 元廣 高之 山道 啓吾. 腸閉塞に対する単孔式腹腔鏡下腸閉塞解除術の検討. 日本腹部救急医学会総会、東京

2. 菱川秀彦、齊藤卓也、上田愛子、田中義人、山道啓吾. 前立腺手術後の鼠径ヘルニアに対する単孔式腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術の検討. 臨床外科学会、福島

道浦　拓

発表（3）

1. 道浦　拓, 井上健太郎, 尾崎　岳, 福井淳一, 向出裕美, 徳原克治, 岩本慈能, 海堀昌樹, 里井壯平, 山道啓吾, 權　雅憲. 食道がん術後乳び胸に対する治療. 第 114 回日本外科学会　東京
2. 道浦　拓, 宮本　真, 向出裕美, 福井淳一, 尾崎　岳, 井上健太郎, 濱田　円, 友田幸一, 權　雅憲. 頭頸部外科専門医の診察による食道癌術後反回神経麻痺の検討. 第 68 回日本食道学会　東京
3. 道浦　拓, 井上健太郎, 尾崎　岳, 福井淳一, 徳原克治, 海堀昌樹, 里井壯平, 濱田　円, 權　雅憲. 当科における術前DCF療法の安全性と有効性の検討. 第 69 回日本消化器外科学会　福島

座長（1）

道浦　拓. 要望ビデオセッション：手術手技. 第 57 回関西胸部外科学会

徳原　克治

論文（1）

1. Katsuji Tokuhara, Kazuyoshi Nakatani, Masaharu Oishi, Shigeyoshi Iwamoto, Kentaro Inoue, A-Hon Kwon. Laparoscopic reduced port surgery for schwannoma of the sigmoid colon: a case report. Asian Journal of Endoscopic Surgery 7(3) p260-263, 2014

発表（3）

1. 徳原克治、中谷和義、松浦節、岩本慈能、吉岡和彦、權　雅憲. 術前化学放射線療法を施行した局所進行直腸癌に対する腹腔鏡補助下手術. 第 27 回日本内視鏡外科学会総会、盛岡
2. 徳原克治、岩本慈能、吉岡和彦、橋本祐希、良田大典、大石賢玄、中谷和義、濱田円、權　雅憲. 局所進行直腸癌に対する術前化学放射線療法. 第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山
3. 徳原克治、中谷和義、松浦節、岩本慈能、吉岡和彦、權　雅憲. 局所進行直腸癌に対する術前化学放射線療法の術後成績. 第 69 回日本大腸肛門病学会学術集会、横浜

講演（6）

1. 徳原克治. 切除不能進行再発大腸癌に対する Multi-Disciplinary Teamwork. 山城北がん診療共同研究会看護部会勉強会、宇治
2. 徳原克治. 切除不能大腸癌に対する TS-1+CPT11 療法の役割. 切除不能大腸癌に新たな治療の選択肢（研究会）、大阪
3. 徳原克治. Non intensive chemotherapy について. Chugai Colorectal Cancer Symposium 2014（研究会）. 大阪
4. 徳原克治. 腹腔鏡下直腸低位前方切除術. 南大阪大腸鏡視下手術懇話会、大阪
5. 徳原克治. 関西医大滝井病院における大腸癌に対する Multidisciplinary Teamwork. 関西医科大学附属滝井病院並びに守口市医師会との懇話会、守口
6. 徳原克治. 腹腔鏡補助下直腸低位前方切除術. 第 2 回 LAC Frontier Meeting、大阪

座長（1）

1. 徳原克治. 第 195 回近畿外科学会、大阪

山本　智久

論文（1）

1. 山本智久、里井壯平、豊川秀吉、柳本泰明、權　雅憲.【ERAS 時代の周術期管理マニュアル】 術中・術後合併症とその管理　感染系・その他 腹腔内膿瘍. 臨床外科 (0386-9857)69 巻 11 号 Page318-320(2014.10)

発表（11）

1. 山本智久、里井壯平、豊川秀吉、柳本泰明、廣岡　智、山木　壮、松島英之、良田大典、井上健太郎、道浦拓、松井陽一、權　雅憲.　十二指腸乳頭部神経内分泌癌の 1 例. 第 9 回 NET WORK JAPAN、福岡
2. 山本智久、里井壯平、豊川秀吉、柳本泰明、西憲一郎、濱野宣行、廣岡　智、山木壮、由井倫太郎、岡本明久、良田大典、道浦

拓、井上健太郎、松井陽一、權　雅憲. 膵頭十二指腸切除術後合併症の重症化リスク因子解析. 第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都

3. 山本智久、里井壯平、豊川秀吉、柳本泰明、廣岡　智、山木　壮、良田大典、道浦　拓、井上健太郎、松井陽一、權　雅憲. 正常膵患者の膵管空腸吻合における long internal stent 留置は有用か？　第 26 回日本肝胆膵外科学会・学術集会、和歌山

4. 山本智久、里井壯平、豊川秀吉、柳本泰明、廣岡　智、山木　壮、良田大典、道浦　拓、井上健太郎、松井陽一、權　雅憲. 正常膵患者に対する膵管空腸吻合 long internal stent 留置の膵瘻予防効果についての検討. 第 45 回日本膵臓学会大会、小倉（北九州）

5. 山本智久、里井壯平、豊川秀吉、柳本泰明、廣岡　智、山木　壮、良田大典、道浦拓、井上　健太郎、松井陽一、權　雅憲. 膵頭十二指腸切除術後の胃内容排泄遅延の発生要因. 第 41 回日本膵切研究会、東京

6. 山本智久, 里井壯平, 柳本泰明, 廣岡　智, 山木　壮, 良田大典, 道浦　拓, 井上健太郎, 松井陽一, 權　雅憲. 膵頭十二指腸切除術に対する周術期管理の変遷と術後合併症に与える影響. 第 27 回日本外科感染症学会総会学術集会、東京

7. 山本智久、里井壯平、柳本泰明、廣岡　智、山木　壮、良田大典、松井陽一、權　雅憲. 主要動脈浸潤を伴う切除不能膵癌に対し化学（放射線）療法を行い切除した2例の比較検討. 第 196 回近畿外科学会、京都

8. 山本智久、里井壯平、柳本泰明、廣岡　智、山木　壮、良田大典、道浦　拓、井上健太郎、松井陽一、權　雅憲. 当院における腹膜転移を有する膵癌患者に対する Adjuvant surgery. 第 9 回膵癌術前治療研究会、鹿児島

9. 山本智久、里井壯平、豊川秀吉、柳本泰明、廣岡　智、山木　壮、良田大典、道浦　拓、井上健太郎、松井陽一、權　雅憲. 膵頭十二指腸切除術後合併症発生のリスク評価. 第 69 回日本消化器外科学会総会、郡山

10. 山木　壮、岡本明久、良田大典、道浦　拓、井上健太郎、權　雅憲. ICU 管理を要した膵頭十二指腸切除術後合併症の検討. ICU 管理を要した膵頭十二指腸切除術後合併症の検討. 第 50 回腹部救急医学会総会、東京

11. 山本智久、里井壯平、柳本泰明、広岡　智、山木　壮、良田大典、權　雅憲. 主要動脈浸潤を伴う切除不能膵癌に対し化学（放射線）療法を行い著効し切除を行った2例の比較. 膵癌勉強会、名古屋

柳本　泰明

論文（4）

1. Yanagimoto H, Ishii H, Nakai Y, Ozaka M, Ikari T, Koike K, Ueno H, Ioka T, Satoi S, Sho M, Okusaka T, Tanaka M, Shimokawa T, Kwon AH and Isayama H. Improved survival with combined gemcitabine and S-1 for locally advanced pancreatic cancer: pooled analysis of three randomized studies.J Hepatobiliary Pancreat Sci.21:761-6; 2014.

2. Yanagimoto H, Satoi S, Yamamoto T, Toyokawa H, Hirooka S, Yui R, Yamaki S, Ryota H, Inoue K, Michiura T, Matsui Y, Kwon AH. Clinical impact of preoperative cholangitis after biliary drainage in patients who undergo pancreaticoduodenectomy on postoperative pancreatic fistula. Am Surg. 80:36-42, 2014

3. Yanagimoto H, Satoi S, Toyokawa H, Yamamoto T, Hirooka S, Yamao J, Yamaki S, Ryota H, Matsui Y, Kwon AH. Pancreaticogastrostomy following distal pancreatectomy prevents pancreatic fistula-related complications. J Hepatobiliary Pancreat Sci. 21:473-8; 2014.

4. Yanagimoto H, Satoi S, Toyokawa H, Yamamoto T, Hirooka S, Yui R, Yamaki S, Yoshida K, Wada G, Okuno M, Inoue K, Michiura T, Matsui Y, Nakano Y, Sakaida N, Kwon AH. Laparoscopic distal pancreatectomy for a pancreatic lymphoepithelial cyst: case report and review of literature. JOP.14:664-8. 2013.

発表（9）

1. 柳本泰明, 里井壯平, 豊川秀吉, 山本智久, 廣岡　智, 山木　壮, 井上健太郎, 道浦　拓, 松井陽一, 權　雅憲. 地域における外科医療の均てん化のための取り組み. 第 114 回日本外科学会総会　京都

2. 柳本泰明, 里井壯平, 豊川秀吉, 山本智久, 廣岡　智, 山木　壮, 良田大典, 井上健太郎, 道浦　拓, 松井陽一, 權　雅憲. 膵癌腹膜転移治療に対するS-1＋パクリタキセル経静脈・腹腔内併用療法（第Ⅰ相臨床試験）. 第26回日本肝胆膵外科学会総会　和歌山

3. 柳本泰明, 里井壯平, 豊川秀吉, 山本智久, 廣岡　智, 山木　壮, 良田大典, 道浦　拓, 井上健太郎, 松井陽一, 權　雅憲. Adjuvant surgery の臨床病理学的特徴-局所進行膵癌との予後比較-. 第 45 回日本膵臓学会　福岡

4. 柳本泰明, 里井壯平, 豊川秀吉, 山本智久, 廣岡　智, 山木　壮, 良田大典, 道浦　拓, 井上健太郎, 權　雅憲. 当科における膵癌治療成績の検討. 第 69 回日本消化器外科学会　福島

5. 柳本泰明、里井壯平、山本智久、廣岡智、山本壮、良田大典、豊川秀吉、道浦拓、井上健太郎、權　雅憲. 化学（放射線）療法が奏功した切除不能膵がんにおける adjuvant surgery. 第 41 回日本膵切研究会　東京

6. 柳本泰明、里井壯平、山本智久、廣岡智、山本壮、良田大典、道浦拓、井上健太郎、松井陽一、權　雅憲. 膵頭十二指腸切除術における膵瘻 GradeB/C 危険因子としての胆道ドレナージ後胆管炎の臨床的意義. 第 27 回日本外科感染症学会　東京

7. 柳本泰明、里井壮平、豊川秀吉、山本智久、廣岡　智、山木　壮、良田大典、道浦　拓、井上健太郎、權　雅憲. 膵癌患者においてダウンステージによる切除は可能か？第 9 回膵癌術前治療研究会　鹿児島

8. 柳本泰明、里井壮平、山本智久、豊川秀吉、廣岡　智、山木　壮、良田　大典、道浦　拓、井上健太郎、權　雅憲. 当科における腹腔鏡補助下膵体尾部切除の検討. 第 6 回膵臓内視鏡外科研究会　盛岡

9. Hiroaki Yanagimoto, Sohei Satoi, Hideyoshi Toyokawa, Tomohisa Yamamoto, Satoshi Hirooka, Jun Yamao, So Yamaki, Hironori Ryota, Yoichi Matsui, Kon Masanori. A clinical role of adjuvant surgery during multi-modality treatment in patients with initially UR pancreatic ductal adenocarcinoma (PDAC). The 1st Kansai-Yeungnam HBP Surgeons Joint Meeting, Korea

講演その他（13）

1. 柳本泰明. ～膵癌化学療法　新時代の幕開けと緩和ケアとのかかわり～. 奈良県病院薬剤師癌と緩和研究会(特別講演) 奈良

2. 柳本泰明. 日本の医療経済を憂う腫瘍外科医の物語り 【がんプロ】がんせみなー2014 in 六甲　神戸

3. 柳本泰明. ～膵がん化学療法新時代に外科医はどう立ち向かうか～. FOLFIRINOX in 滋賀(特別講演) 滋賀

4. 柳本泰明. 化学療法の最前線. 膵臓がん啓発パープルリボンセミナー　和歌山

5. 柳本泰明. 確定診断に難渋した興味深い 1 例. 関西医大臨床腫瘍研究会　大阪

6. 柳本泰明.『がん治療・緩和センターの役割』～癌治療だけじゃない！緩和、そして地域との新たな連携の始まり～. 癌治療緩和センター記念講演会(特別講演) 大阪

7. 柳本泰明. 膵がん化学療法新展開　～ここからが踏んばりどころ～. 第 9 回　がん化学療法看護セミナー(特別講演) 広島

8. 柳本泰明.『究極のがん治療を目指した膵臓外科医の物語』～膵癌治療にかかわるすべてのスタッフの皆様へ (診断・治療から緩和・地域連携も含めて)～. 第 1 回手稲膵臓外科研究会(特別講演) 札幌

9. 柳本泰明. ～膵がん化学療法新時代に外科医はどう立ち向かうか～. 第 3 回西濃消化器がん学術講演会(特別講演) 岐阜

10. 柳本泰明. がん患者さんが安心して暮らせるために今できること. 第 3 回大腸がん地域連携懇話会(特別講演) 大阪

11. 柳本泰明. ～がん治療医にしかできない緩和ケアの極意!!～. 第 52 回日本癌治療学会学術集会(ランチョンセミナー) 横浜

12. 柳本泰明. アブストラル®（Fentanyl 舌下錠）使用経験と今後の展望. 第 74 回手術手技懇話会ショートレクチャー　大阪

13. 柳本泰明. 進化した関西医科大学の実力～がん治療を中心に～. 北河内 6 医師会と関西医科大学医師会との合同懇談会(特別講演) 大阪

向出　裕美

発表（4）

1. 向出裕美、井上健太郎、 道浦　拓、徳原克治、尾崎　岳、福井淳一、濱田　円、權　雅憲. 腹腔鏡下幽門側胃切除術における BMI の影響. 第 86 回日本胃癌学会総会、横浜

2. 向出裕美、道浦拓、尾崎岳、福井淳一、井上健太郎、濱田　円、權　雅憲. 多職種専門スタッフ介入による食道癌周術期チーム医療. 第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都

3. 向出裕美、道浦　拓、尾崎　岳、福井淳一、井上健太郎、濱田　円、權　雅憲. 食道癌に対する DCF 術前化学療法後に予期せぬ感染症をきたした 2 症例. 第 68 回食道学会学術集会、東京

4. 向出裕美、井上健太郎、道浦　拓、尾崎　岳、福井淳一、濱田　円、權　雅憲. 当教室における胃癌腹膜転移・腹腔洗浄細胞診陽性症例の臨床学的病理学的特徴の検討. 第 69 回日本消化器外科学会総会、福島

中井　宏治

発表（1）

1. 中井宏治、切除不能進行胃癌症例に対する DCS（S-1+CDDP+Docetaxel）療法の効果、第 16 回消化器外科手術を考える若手の会、大阪、2014 年 7 月 26 日

遠藤　香代子

論文（1）

1. 遠藤香代子、末岡憲子、坪田　優、山本大悟、坂井田紀子、權　雅憲. 乳腺神経内分泌型乳管癌の臨床病理学的検討. 日本臨床外科学会誌 75 巻 3 号

発表（1）

1. 遠藤香代子, 山本大悟, 田中完児, 小路徹二, 森　毅, 奥川帆麻. 当院における3D マンモグラフィーの検討. 第 22 回日本乳癌学会学術総会、大阪

北出　浩章

発表（2）

1. 北出浩章、柳田英佐、横井川規巨、海堀昌樹、松井康輔、石崎守彦、權　雅憲. 肝細胞癌術後再発に対して sorafenib 少量投与を行い long SD となった3症例. 第 69 回日本消化器外科学会、福島
2. 北出浩章、柳田英佐、横井川規巨、松浦　節、岩城隆二、吉岡和彦、里井壮平、權　雅憲. 大腸全摘＋膵尾側切除後に発症した上腸間膜動脈症候群のために膵液瘻が遷延した症例. 第 26 回日本肝胆膵外科学会、和歌山

講演その他（2）

1. 北出浩章. 関西医科大学における NST 活動の実際. 北野病院 NST 勉強会、大阪
2. 北出浩章. 外科栄養.　平成 26 年度 NST 臨床実施修練カリキュラム　大阪
3. 北出浩章. 胃廻のすべて.　平成 26 年度 NST 臨床実施修練カリキュラム　大阪

座長（1）

1. 北出浩章.　附属滝井病院「NST・緩和ケア合同勉強会　特別講演」、大阪

駒井　宏好

論文（4）

1. 駒井宏好. 最新医学別冊　新しい診断と治療の　ABC　86　静脈血栓塞栓症　下肢静脈瘤. 石丸　新　編、第一章　静脈血栓塞栓症　静脈血栓症の予防 52-9、最新医学社　大阪　2014
2. 駒井宏好. 血栓症治療ガイドライン　up-to-date　末梢血管、静脈血栓塞栓症(VTE/PE・DVT)　ヨーロッパ心臓病学会特別作業班による、頭蓋外頸、椎骨動脈、腸間膜動脈、腎動脈、上肢・下肢動脈を含む末梢動脈疾患診断および治療ガイドライン. 血栓と循環 2014　22：175-78.
3. Komai H, Shindo S, Shigematsu H, Ogino H. Double tract vein graft of the lower limb: its efficacy as a conduit for tibial bypass. J Cardiovasc Surg (Torino). 2014 Mar 26. [Epub ahead of print].
4. Komai H, Shindo S, Sato M, Ogino H. Reduced protein C activity might be associated with progression of peripheral arterial disease. Angiology 2014 2014 Aug 12. [Epub ahead of print].

発表（2）

1. 駒井宏好. シンポジウム２　浅大腿動脈に対する最前線　浅大腿動脈領域の　IVR　治療に必要な血管外科的知識. 第　43　回日本 IVR 学会　奈良　2014
2. 駒井宏好. スポンサードビデオライブ２　CLI 症例に対する　Distal Bypass の実際. 第6回日本下肢救済・足病学会　札幌　2014

講演（16）

1. 駒井宏好. 脈管センターとしての血管外科へ　関西医科大学附属滝井病院の新たな取り組み. 第　132　回大阪血管外科同好会　特別講演　大阪
2. 駒井宏好. 大学病院新設血管外科としての新たな取り組み. 第 31 回埼玉血管外科懇話会　特別講演　さいたま
3. 駒井宏好. 静脈性浮腫　静脈瘤や深部静脈血栓症の診断と治療. 第 4 回リンパ浮腫療法士教育セミナー　京都
4, 駒井宏好. 大学病院新設診療科における静脈疾患診療. 第 34 回日本静脈学会　ランチョンセミナー5　名護
5. 駒井宏好. 明日からの診療に役立つ血管病の診断と治療. 第 7 回寝屋川市医師会・香里病院　地域連携の会　教育講演　守口
6. 駒井宏好.『足の症状は我々にお任せ！』 足の症状から知る血管病. 歩行障害の総合的診断・治療　守口
7. 駒井宏好. 適正な PAD 治療を目指して　学会アンケートから見えてきたもの. 第 42 回　日本血管外科学会　ランチョンセミナー13　青森
8. 駒井宏好. 血管外科の診断と治療　up-to-date　第 183 回加多乃会「勉強会」　枚方

9. 駒井宏好. 閉塞性動脈硬化症の診断と治療ー明日からの診療に役立つ早期発見のポイント— 第 8 回上本町生活習慣病フォーラム 特別講演 大阪

10. 駒井宏好. 足は動脈硬化の窓-動脈硬化性血管病早期発見にむけて- 第 6 回済生会和歌山病院登録医総会特別講演 和歌山

11. 駒井宏好. 糖尿病、透析患者の QOL 向上のための下肢病変診断・治療戦略---軽症から重症まで-- 第 15 回大阪透析末梢循環障害研究会 特別講演 大阪

12. 駒井宏好. 最新の大動脈、末梢血管治療. 第 4 回滝井循環器フォーラム 大阪

13. 駒井宏好. 閉塞性動脈硬化症治療の原点 血管外科医の果たすべき役割. 第 19 回紀南ハートカンファレンス 特別講演 田辺

14. 駒井宏好. 明日からの診療に役立つ末梢血管疾患の診断と治療. 大阪府内科医会定例学術講演 大阪

15. 駒井宏好. 血管診療におけるコメディカル同士の交点と展望. 第 2 回関西 CVT 連絡会 吹田

16. 駒井宏好. 閉塞性動脈硬化症早期発見に向けたシステム作り. 第 6 回近畿血管バイオメカニクスセミナー 吹田

座長（5）

1. 駒井宏好. ランチョンセミナー2-4 「EVT 領域の抗血小板療法を考える」 Japan Endovascular Treatment conference 東京

2. 駒井宏好. パネルディスカッション 3 重症膝下病変に対する治療選択 バイパス手術と血管内治療 第 44 回日本心臓血管外科学会 熊本

3. 駒井宏好. 一般演題 11 ブラッドアクセス 1 第 14 回日本静脈学会 名護

4. 駒井宏好. 会長要望演題（9） 重症虚血肢に対するチーム医療 第 42 回日本血管外科学会 青森

5. 駒井宏好. パネルディスカッション 2 膝下病変に対する治療 (EVT VS Bypass) 第 55 回日本脈管学会 倉敷

主催（1）

1. TAKE! ABI 2014 in KANSAI 実行委員長

大石 賢玄

発表（3）

1. 大石賢玄, 濱田円, 山本慧, 八田雅彦, 良田大典, 坂口達馬, 尾崎岳, 福井淳一, 向出裕美, 徳原克治, 道浦 拓, 井上健太郎, 岩本慈能, 權 雅憲. 成人男性に発症した Sacrococcygeal teratoma の 1 例. 第 195 回近畿外科学会 大阪

2. 大石賢玄, 濱田 円, 橋本祐樹, 良田大典, 尾崎 岳, 福井淳一, 向出裕美, 道浦 拓, 井上健太郎, 岩本慈能. 横行結腸脾彎曲部一下行結腸癌に対する腹腔鏡下 Complete Mesocolic Excision の定型手技. 第 27 回日本消化器外科学会総会 郡山

3. 大石賢玄, 濱田 円, 山本慧, 橋本祐希, 稲田涼, 尾崎 岳, 福井淳一, 向出裕美, 道浦 拓, 井上健太郎, 岩本慈能. 当科における腹腔鏡下直腸癌手術の現状. 第 196 回近畿外科学会 京都

論文（1）

1. 大石 賢玄, 濱田 円:【6 科 24 術式 術式別でわかりやすい!内視鏡外科手術実践マニュアル】(第 2 章)レベルアップを目指すオペナースのための術式別マニュアル 消化器外科 腹腔鏡下結腸切除術(解説/特集). オペナーシング 2014 秋季増刊: 88-95, 2014

橋本 祐希,

発表（1）

1. 橋本祐希, 濱田円, 坂口達馬, 大石賢玄, 稲田涼,尾崎岳, 向出裕美,福井淳一, 道浦拓, 井上健太郎, 岩本慈能: 当科におけるストマ作成の現状. 第 196 回近畿外科学会 京都

濱田 円

発表（6）

1.濱田 円, 戸嶋俊明, 丁田泰宏, 金澤 卓, 原野雅生, 松川啓義, 小島康知, 塩崎滋弘, 大野 聡, 岡島正純, 二宮基樹, 西岡豊: 進行直腸癌に対する腹腔鏡下手術の適応と展望. 日本外科学会 京都

2. Madoka Hamada, Masahiro Hatta, Hironori Ryota, Tatuma Sakaguchi Masaharu Oishi, Hiromi Mukaide , Junichi Fukui, Takasi Ozaki , Katuji Tokuhara, Taku Michiura, Kentaro Inoue: Laparoscopic Splenic Flexure Mobilization for Colorectal Tumor Resection European association of endoscopic surgery. Paris

3. 濱田 円, 良田 大典, 坂口 達馬, 大石 賢玄, 向出 裕美, 福井 淳一, 尾崎 岳, 道浦 拓, 井上 健太郎, 岩本 慈能: 進行下部直腸癌に対する腹腔鏡下側方郭清 (特に#263D 郭清について). 第 69 回日本消化器外科学会総会.郡山

4. 濱田 円, 山本 彗, 坂口 達馬, 稲田 涼,大石 賢玄, 向出 裕美 福井 淳一 , 尾崎 岳, 道浦 拓, 井上 健太郎, 岩本 慈能, 尾崎和秀, 井谷 史嗣: 直腸癌に対する腹腔鏡下 ISR の治療成績.第 27 回 日本内視鏡外科学会 盛岡

5. 濱田 円, 濱田洋, 坂口達馬, 大石賢玄, 稲田 涼, 尾崎 岳, 向出裕美, 福井淳一,道浦 拓, 井上健太郎, 岩本慈能: 腹腔鏡下腹会陰式直腸切断術に対する定型化の要点. 第 76 回日本臨床外科学会 郡山

6. Madoka Hamada, Masahiko Hatta, Ryo Inada, Masaharu Oishi, Shigeyoshi Iwamoto: Short-term Outcomes after Laparoscopic Intersphincteric Resection with Lateral Pelvic Lymph Node Dissection for Low Rectal Cancer. 8th European Colorectal Congress ミュンヘン

座長（5）

1.示説 1-3 直腸癌における治療法の新展開-術前, 術後, 化学療法, 化学放射線療法-. 第 80 回大腸癌研究会 東京

2. 示説 II-14 主題 II：高齢者大腸癌（75 歳以上）の治療戦略. 第81 回大腸癌研究会 東京

3. みんなで進める安全で円滑な内視鏡外科手術. 第 17 回チームビルデイングセミナー 大阪

4.ワークショップ「直腸癌に対する腹腔鏡下手術の進歩：さらなる質の改善へ. 第 27 回 日本内視鏡外科学会 盛岡

5. 第 14 回 EGI 外科治療研究会

講演（13）

1.大腸癌に対する腹腔鏡下手術の役割と今後の展望. 第 7 回関西消化器肝疾患懇話会. 大阪市

2.関西医科大学 消化管外科の現状と展望. 鶴翔会近畿総支部会. 2014 年 2 月. 大阪市.

3.高知県消化器内科学学術講演会. 関西医科大学 消化管外科の現状と展望. 高知

4.ランチョンセミナー: 腹腔鏡下腹壁瘢痕ヘルニア, 傍ストマヘルニアにおける手術の適用と手技のポイン ト. 第 4 回日本腹腔鏡下ヘルニア手術手技研究会. 博多

5.腹腔鏡下腹会陰式直腸切断術とその功夫. 第 15 回福山大腸疾患研究会福山

6, 直腸癌に対する腹腔鏡下手術.兵庫大腸がん分子標的薬治療セミナー 神戸

7. 腹腔鏡下大腸癌手術における Total Mesorectal Excision(TME) と Complete Mesocolic Excision(CME). 第 27 回阪神内視鏡手術勉強会 神戸

8.直腸癌に対する腹腔鏡下手術 Colorectal Cancer Symposium in 岡山.

9. ブタ解剖について. 第3回岡山手術手技ビデオフォーラム in ATC 富士宮

10. 腹腔鏡下大腸癌手術における Total Mesorectal Excision(TME) と Complete Mesocolic Excision(CME) 第 27 回阪神内視鏡手術勉強会. 神戸

11. 腹腔鏡下手術と ileostom. 第 46 回 東京ストーマリハビリテーション研究会. 東京

12. 直腸癌に対する腹腔鏡下手術. 消化管外科からみた泌尿器科. 第 255 回岡山泌尿器科カンファレンス.岡山

13. 直腸癌に対する腹腔鏡下手術. 岡山市医師会 岡山